

**な～に谷っ戸ん田**

**2010年度 活動記録**

**<http://www.yattonda.com>**

## 第1回 『菌打ち、畑片付け、田打ち、トマト定植、竹林整備ほか』

と き 平成22年4月3日(土) 9:30 - 18:00 +  $\alpha$

ところ 納屋前・谷戸の奥の畑・ビニールハウス・谷っ戸ん田・竹林

天 気 晴れときどきくもり

参加者 園主(テツさん)、石田、磯、久保、○佐々木妻、坂本、△高田夫・マドンナ、○高見、○福富、  
▲藤田、松本妻、▲百崎夫、△吉田、加藤 (15名、△は午前の参加、▲は午後の参加、○は早退)

### 【午前：畑の片づけ、菌打ち、倒木の伐採片づけ、田起こし】

- 石田さん、磯さん、佐々木さん、坂本さんが前回のほだ木の残り27本に椎茸の菌打ち。今度はコマが余ってしまった。
- あとのメンバーは谷戸の奥の畑で菜花摘み、ねぎ・にんじんの収穫、わらの片づけ。あとはテツさんがトラクター(大)で耕す。
- 手の空いているメンバーで、田んぼで燃やした廃材や釘などを拾い、片づけ。
- 倒木の伐採と片づけ。
- 田起こし作業をトラクター(昭和40年代モデル)とテラー(珍しいディーゼル9馬力)で行う。畦切りも同時進行。

### 【昼食】

- 昼食は田んぼ横で。松本さんからおいしいかりんとうの差し入れあり。松本さんの北陸の旅の話で盛り上がる。食後、石田さんはわらぼっちの上で大の字。

### 【午後：倒木燃やし、田起こし、トマト定植、竹林整備の続き】

- 倒木の片づけ、田起こしと畦切りの続き。作業終了後、3時少し前に竹林の整備に向かう。
- 百崎さん、松本さんは田んぼ上のハウス内でトマトの定植作業。すでに黒ビニールでマルチされた畝に苗を植える。107株、二畝分。33株は病気や折れがあり残置。終了後は竹林に合流。
- 竹林整備の合間に竹の子掘り。坂本さんは汗びっしょり。

### 【その他】

- お土産にねぎ・人参・菜花・竹の子をいただく。
- トラクターやテラーで耕耘する際、耕し残しがないように、すぐ隣ではなく間を空けて耕し、そこを後から耕すといいと教えられた。
- 朝のミーティングでテツさんから「もう四年目になるので、自分で少しはわかってもらわない」と言われ、ドキッとす。田起こしをしていると、なんだか厳肅な気持ちになる。また米作りの一年が始まる。起こした土が眠りから覚めたように黒く光っていた。

田起こしや眠り覚まして黒き土 あきら

(記録:加藤 彰)



ほだ木27本にしいたけの菌打ち。ところが、コマを余らしてしまった・・・。

菜の花畑の片付け



倒木の伐採と処分



田起こし



トマト定植



色鮮やかな竹林

## 第2回 『水路のドロ上げ（掘りさらい？）』

と き 平成22年4月10日（土） 9:30 - 17:30 + α

ところ な～に谷っ戸ん田の南側水路

天 気 晴れときどき曇り（暖かな日和）

参加者 園主（テツさん）、石田、△オズ、加藤、久保、坂本、柴田、高田マドンナ、高見、高橋、△○藤田、  
松本夫妻、吉田、佐々木家、ゲストは△上田さん（グリーンの方）  
（17名、子ども1名 △は午前の参加、▲は午後の参加、○は早退）

### 【午前：水路のドロ上げ】

- この水路は15年程前の農地造成の際に生き物のために小川として残した「復元の小川」である。小川整備を要望した「恩田谷戸ファンクラブ」が管理しているが、おそらく労力不足と生き物への配慮もあって少しずつ泥をさらうだけで、水路としては不十分な整備になっていた。そこで、テツさんが「な～に谷っ戸ん田」でやろうと決断された（石田さん記述）。
- 水路のドロ上げは、体力と根気が必要だ。水路のマンホールの水をポンプで汲み上げ、その中に入りドロを上げる者。水路のドロを掘り、バケツに入れ、そのバケツを田んぼに上げる人と手分けして行う。バケツには紐をつけ堀から引っ張り上げる。傾斜もあり、これが中々の重労働となる。ドロは田んぼにドボンと落とす。色々な喩えを言い合いながら笑い飛ばし、快調に作業は進む。テツさんから「後20cm～30cm掘る！」と言われ、「えっ！」いつ、終わるの？

### 【昼食】

- ハンモックカフェ出店。ランチメニューは、春キャベツと豚肉どん（味噌の味付けに豆板醤を少々）。子どもが良く食べました！話題の湘南ゴールドという名のみかん。レモン色だが、これが甘い。子どもに大うけ。久しぶりでハンモックに寝た。空と木々の広さ、鳥の声を聞き、心地よい揺れに体の力が抜けていく。異次元を楽しんだ。ありがとうございます。
- 上田さんから、実家（伊賀）の家の前の田んぼで採れたらわさびの漬物の差し入れを頂いた。醤油におかかで頂くとわさびの辛さが舌に心地よかった。ご馳走さまでした。



### 【午後：水路のドロ上げの続き】

- 午後、テツさんが反対側から水路に入りドロ上げを開始した。深く掘るだけでは駄目だった。幅もあった。やり直しとなる。青森出身の柴田さんが、一輪車で運んでいたドロを雪かきの要領で、「えいっ！やー！」と田んぼに向かって投げた。若いな～。
- 何とかカッコがついて片付け始めた。鋤簾、スコップ、鍬、バケツ、一輪車はドロだらけだ。気がつけば、我々もドロだらけだった。田んぼ用の長靴が大活躍した。天気も良く暖かな日和で何より。

堀切りの泥に笑顔の花の雨

としえ

- 作業中、オニヤンマのヤゴ、赤ガエル、など多くの生物を発見救助。作業後に水が入ったときには、さらさらと流れる春の小川に泳ぐ魚影（？）も見られた。
- 今回、田起こしも終わり、泥を田んぼに上げたことで生物にもよい水路の掃除になったのではないかと思われる（石田さんの記述）。

（記録：チャリママ）



360度カメラで見るな～に谷っ戸ん田とランチタイム



どの程度の作業になるか分からず、最初はある種の余裕が・・・。



ポンプで汲み上げれば終わりと思っていた人も・・・。



「中に入りましたけど、どうすれば？ あちこちから違う指示を出さないで下さい」



泥だらけになり無事完了。次回の作業は何年後？

### 第3回 『種まき、竹の運搬』

と き 平成22年4月24日(土) 9:30 - 17:00

ところ 上の作業小屋前、竹林

天 気 晴れときどき曇り(ここ数日間よりは暖かいが日が陰ると寒い)

参加者 園主(テツさん)、石田、△オズ、△加藤、◇霧生、久保、坂本、◇佐々木(利)、◇佐々木(ユウ)、  
■柴田、◇高田(ユウ)、◇高田(マドレーヌ)、□高見、高橋、松本(ジュン)、◇百崎(満)、△  
吉田、△ゲスト佐々木(母と子、高橋の職場関係らしい)  
(17名、子ども2名、△は午前参加、◇は早退、□は中抜け、■挨拶冷やかし程度)

【準備】 前日、モミ(コシヒカリ)を殺菌剤(スプレーラックスター SE 100ml)に入れた20kg桶2杯に浸す(園主)。

【午前：播種準備と播種】

○播種機(SUZUTEC製うすまきオート) … 作業小屋軒下のニワトリとチャボ小屋を移動し設置。

○苗箱 … 水とケミクロンG(中性次亜塩素酸カルシウム)250gを入れた浴槽で殺菌(95枚)。

○モミ(コシ) … 前日から浸しておいた桶からザルで掬いだし、4枚のゴザに移して干す。

○モミ(赤米=紅浪漫、観丹穂) …

1. 脱芒機(Kubota SA-40)でノギ(モミについているひげ)をとる。脱芒機に2回かけた。

2. コシ用に利用した殺菌液に漬ける(紅浪漫と観丹穂、各一桶)。

3. ゴザに移し替えて干す。

○土 … 春風床土(クボタ20kg/袋)48袋運び21袋使用(残27袋)。

○播種機を使ってコシの種まき。

【昼食】

○作業小屋前で各自摂る(ちなみに記録者は7イレブンのタンメンとおにぎり、しめて530円ナリ)。

○北部農政事務所の森係長、吉田さん、福德さんが来田。ごあいさつ賜りました。

○土産・差し入れ … 饅頭(森係長)、缶コーヒーとマドレーヌ(園主)、和菓子(霧生さん)、  
霞ヶ浦産の蓮(松本さん、25日の霞ヶ浦マラソンは3時間52分、昨年より記録が伸びたのは  
谷っ戸ん田による体力向上と内助の功によるものと記録者分析)

【午後：赤米播種、竹片づけ】

○播種機を使ってコシの種まき(続き) … 苗箱80枚、モミの量は1合8尺(33cc、190g)/苗箱

○赤米の種まき(手蒔き) …

1. 苗箱に床土を入れ、赤い鉄製の計量板でならす。 / 2. モミを手蒔き。

3. 土と水かけは播種機の後半部を利用。 / 4. 紅浪漫12枚、観丹穂6枚の苗箱完成。

○苗箱をハウスに積む。下から5列×16段(コシ)、5列×2段+2枚(紅浪漫)、3枚+3枚(観丹穂)。

○ビニールを約5重にぐるぐる巻き、畳へりひもで結わえる。

○苗箱の上部に重しを忘れたことに気づき、翌日の作業とする(予習していないことを反省)。

○モミ(コシ)の脱芒後、殺菌桶(20kg桶2杯)に浸す。

○15時より竹林に移動して竹の運搬。ダンプカーで2回畑に。最下部に積んであった竹は片付いた。

タケノコ掘り、3袋分を収穫。皆でいただきました。伸びたモノは蹴飛ばして生長しないように。

【その他】 サトイモをいただきました。

※4月25日(日)

参加者：磯、坂本、高見 / ところ：作業小屋前、作業小屋裏の畑

作業内容：

1. 苗箱のビニールを取り、土を入れた苗箱を最上部に押さえとして載せ、また元通りにした。

2. 作業小屋裏の畑に暗渠排水を入れる作業を昼まで手伝い、タケノコ運搬と廃ロックウール  
(排水材の代用)のラベル外した。

3. 磯さんは午後竹運搬の手伝い。

(記録：高橋Hi-Lucky 広明)



子ども達の頑張りで、種まき作業は順調に進んだ。しかし、ビニールで苗箱をくるんだ後、上部に重しを乗せるのを思い出し、翌日は臨時の作業。右下の写真は、暗渠に入れるため伐採した竹の運搬の様子。



# 4月17日 BBQ



## 第4回 『苗ならべ 荒しろかき、竹林整理&タケノコ掘り』

と き：平成22年5月1日（土） 9:30 - 17:30

ところ：上の作業小屋前のハウス、な～に谷っ戸ん田、竹林

天 気：快晴（新緑がまぶしく、とても気持ちのいい日でした）

参加者：園主（テツさん）、石田、磯（午後から参加）、加藤、霧生、久保、佐々木利江、佐々木ユウ君（佐々木家は夕方早退）、坂本、柴田、高田夫妻、松本夫妻（13名、子ども1名）

※園主は、午前は十日市場の堀さらいがあり、その後、寅薬師の当番があって、作業にはほとんど参加できなかった。その分、皆で考えて分担した。が・・・

### 【午前：苗ならべ、荒しろかき】

#### ○ 苗ならべ

- ・ハウスの整理を行った後、先週種まきを行い、ハウスに積み重ねていた苗箱をハウスに並べた。
- ・2枚ずつ2列、そして列の間には、人が歩けるくらいの間を空けて並べる。
- ・上部にあった観丹穂（カンニホ）と紅浪漫（ベニロマン）は発芽し、もやしのように伸びていた。
- ・下部にあったコシヒカリは、ほとんど発芽していない状態だった。
- ・苗箱を鳥よけの白い寒冷紗で覆い、さらに上部は、光をさえぎるため、キノコの上を覆っていた黒い寒冷紗を取り外し、苗箱の上に吊るした。
- ・苗にホースで水をやり、苗ならべ完了（観丹穂6箱、紅浪漫12箱、コシヒカリ80箱）。

#### ○ 荒しろかき

- ・な～に谷っ戸ん田に移動し、朝から水を入れた田んぼの荒しろかきをした。
- ・機械は、午前中はテラーを2台、午後からは3台使用した。
- ・テラーのエンジン調整、カゴ車の取り付け（コマツの協力あり）など、苦勞した。
- ・作業は、田んぼ周辺の草取り、テラーによるしろかき、スコップ、クワを使用しての田んぼの奥のほうに積み上げた泥（4/10の掘りさらいの泥）を平らにする作業に別れた。

### 【昼食】

- ・な～に谷っ戸ん田で食べる。加藤先生より八目豆の差し入れがあった（美味）。
- ・石田さんは、昼休みに寅薬師を訪ねてみた。薬師様、周りの像など、とても立派で感動でした。
- ・昼食後に、石田さんより会費の使い方と補助金の使用方法について話があり、それについて話し合った。概ね意見は一致。後ほど、メールにて会員間の共有をはかる。

### 【午後：荒しろかき、竹林整理&タケノコ掘り】

#### ○ 荒しろかき

- ・引き続き荒しろかき。角材も登場（16:00でいったん終了）。

#### ○ 竹林整理&タケノコ掘り

- ・竹林に移動。バラバラに放置されていた竹類を整理。その後、タケノコを掘り、参加者で山分け。

（記録：高田 裕司）





赤米は順調に発芽(奥:ベニロマン、前:カンニホ)



コシヒカリは調子悪し



手渡しで苗箱を並べていく



鳥よけの白い寒冷紗で覆い、黒い寒冷紗を吊るす



テラーによる荒しろかきと田んぼ周りの草取り



角材で丁寧に仕上げる



この距離感が...



ここでも、この距離感が...

## 第5回 『クロ付け、本代かき、苗並べ、籾播種』

と き：平成22年5月8日（土） 9:30 - 19:20

ところ：な～に谷っ戸ん田、上の作業小屋前及びビニールハウス

天 気：快晴（紫外線が強いとの予報あり、でも気持ち良い暑さでした）

参加者：園主（テツさん）、石田、オズ、加藤（午前）、霧生、久保、佐々木母子（高橋ゲスト：午前）、  
佐々木利江（午後）、柴田、高田直子、高橋、高見、藤田（午前）、松尾（午前）、  
松本夫妻（午前）、百崎父子（午前）、吉田  
森、枝広、佐野（北部農政事務所：午前）、大塚夫妻（見学・午前）  
（作業21名、子ども2名、見学2名）

### 【午前：クロ付け、代かき】

#### ○ クロ付け

- ・ 地下水（井戸水）を給水。及び復元の小川からエンジンポンプによる揚水を行い、谷っ戸ん田の畦内側を鍬で少し掘って水路とし、全周囲に水を行き渡らせた。
- ・ その後、含水した田んぼの泥を鍬または手で畦に塗って止水。
- ・ 厚手で嵩の高い畦を形成。「田んぼの泥をクロに使いすぎ」とテツさんから指摘される。

#### ○ 肥料散布

使用肥料 ①天然リン酸スーパーグアノ … 粒状、正味20kg、シルバー産業製  
②くみあい配合肥料 8:10:11 … 中川水稻2号、正味20kg、全農製  
赤米田 ⇒ ①×1袋 + ②×1袋    コシヒカリ田 ⇒ ①×2袋 + ②×3袋  
肩掛け容器に適量を入れ、まんべんなく田んぼに散布。子どもたちも活躍。

#### ○ 粗代かき

トラクター及び耕耘機使用。田んぼ内の水量を調整しながら本代かき。昼休みに給水を停止。

### 【昼食】

ハンモックランチ（空豆ときのこのチーズバーガー&春野菜スープ）



### 【午後：苗ならべ、種籾播種（4種類）、本代かき】

#### ○ 苗ならべ

- ・ ハウスの整理を行った後、5/5に籾を蒔いて積み重ねておいた育苗箱（コシ117箱）をハウス内に並べ、寒冷紗で被覆した。
- ・ さらに日差しを和らげるため、並べた育苗箱の上部に寒冷紗を架けた。

#### ○ 種籾播種

- ・ 事前に消毒していた4種類の種籾をゴザの上に薄く蒔き出して半乾燥。
- ・ ひもでまとめた状態の育苗箱を大型容器内の消毒液に短時間浸す。
- ・ 育苗箱に下敷紙[ECOPAPY：日本甜菜製糖（株）]を敷き、播種機で育苗箱に播種。
- ・ 床土は、三菱農機製、ヤンマー製、クボタ製の3種（別紙詳細）を使用。
- ・ 播種後の育苗箱を上部のビニールハウス内に積み重ね。
- ・ ヒカリ新世紀23箱、モチ40箱、ユメツクシ109箱、コシヒカリ50箱の計222箱。



#### ○ 代かき

トラクター、耕耘機2台（うち1台の調子悪し）で代かき、トンボ及び角材曳きにより不陸調整を行った。

※ 片付け 石田、吉田、柴田（田の字3兄弟）、久保、高橋、高見

作業道具、機械の洗浄。19:20終了。

※ 差し入れ 午前休憩時、松本さん、大塚さんから菓子、午後の休憩時、テツさんから飲物。

（記録：高見 元久）



初めは分散してクロ付け作業をしていたが、いつの間にか  
 集団に。園主から「な～にやっとなだ！」のお叱りが。



「集団じゃなく、私は自分一人で肥料をまきます！」



「私達はカップルでないと、卵を産めません」

農政マンが働き、谷っ戸ん田メンバーは日陰で雑談中。



計 222 箱の種まき(ヒカリ新世紀 23 箱、モチ 40 箱、ユメツクシ 109 箱、コシヒカリ 50 箱)

## 第6回 『苗並べ、田植え』

と き：平成22年5月15日（土） 9:30 - 16:30 +  $\alpha$

ところ：な～に谷っ戸ん田、上の作業小屋前及びビニールハウス

天 気：晴れ

参加者：園主（テツさん）、石田、加藤、霧生、久保、佐々木母子、佐々木みさ母子、柴田、高田直子、高橋、高見（午前）、松尾（午前）、松本夫妻、百崎父子、磯、藤田（午後）、吉田、田中（作業19名、子ども3名）

### 【午前：苗並べ、田植え】

#### ○ 苗並べ（ハウス内）

- ・ モヤシ状の苗箱をビニールシートの上に2列（水やりがしやすいように）で並べた。
- ・ 各々の種類が混ざらないように、高見さん作成の図面を見ながら並べた。その数222枚！

#### ○ 苗運び

- ・ 本日田植え分の苗をハウスから田んぼに移動（軽トラ、徒歩など）。

#### ○ 田植え

- ・ 田植え機（歩行型2条植え）を使ってコシヒカリの田植え。
- ・ 1往復ずつ交代で作業。失敗した箇所は手植えで補った。

#### ○ 畦の草刈、田んぼの水抜き

- ・ 一部は、鎌を使用して畦の草刈を行った。
- ・ 百崎さんが赤米の田んぼの水が抜けるように、手で泥をすくって水路をつけてくれた。これによってすじがきれいに引けた。

### 【昼食】 各自持参・コンビニ弁当、高田農園のイチゴ

### 【午後：田植え（コシヒカリ、赤米＝手植え）、すじひき】

#### ○ コシヒカリ

- ・ 田植え機で午前の続き。機械の入らないところは手植えで補植。

#### ○ 赤米（手植え）

- ・ ベニロマン12枚 … コシヒカリ側（赤米田の約2/3の面積）
- ・ カンニホ6枚 … ハウス側より18列（目印に簡単な支柱を立てる）

#### ○ 作業内容

- ・ 田植え定規で縦横格子状にすじひきをし、苗を植える目印をつける。
- ・ 元気な苗を選別して一か所に3～4本植える。
- ・ 苗はかなり余った。元気な苗は補色用に赤米田んぼに残し、病気の苗は処分。
- ・ 田植え終了後、水を張った。

#### ○ 片付け

- ・ 田植え機（エンジン部分以外）、育苗箱、田植え定規、鎌などの洗浄。

※ 高田農園さんより、前日早朝収穫露地無農薬イチゴの差し入れ。おやつの差し入れも。ありがとうございました！

※ てつさんよりねぎのお土産をいただきました。ねぎを根っこから収穫するのが意外と難しかったです。

※ 作業終了後、吉田さんはてつさんのお手伝いで十日市場にて遅くまで草刈り。ご苦労様でした。

（記録：松尾 敏行、田中 萌）



1週間前の苗箱(222箱)をハウスに並べます。



「すみません。補植をお願いしま〜す」



「タカハシさん、いい感じで曲がってますよ」



女性にはサポータが付きます。な〜に谷っ戸ん田流？



「オレにもサポータ欲しい。マドンナがいいなあ」



見事な幾何学模様。赤米は手植えです。



田植えが終わり、看板がうれしそう。

## 第7回 『稲の補植、トマト苗の誘引、大根畑整理、竹林整備』

と き：平成22年5月22日（土） 9:30 - 15:30 +  $\alpha$

ところ：な～に谷っ戸ん田、トマトのビニールハウス、大根畑、竹林

天 気：晴れ

参加者：石田（14:00迄）、磯（午前）、オズ、加藤（午前）、久保、坂本（午前）、佐々木父子、高橋、田中、高見（午後）、松本夫婦、百崎父子（午前） （作業13名、子ども2名）

### 【午前：稲の補植、トマト苗の分芽摘みと誘引】

#### ○ 稲の補植

- ・ 石田リーダーの指示（あまり丁寧に補植しすぎない）に従い、各々が必要箇所を見つけて補植。
- ・ 途中、石田リーダーは萌ちゃんと中抜けしてグリーンの田んぼに余り苗を運ぶ。谷っ戸ん田の余り苗も一緒に処分。

#### ○ トマト苗の分芽摘みと誘引

- ・ 稲の補植を終了後、加藤先生がテツさんに連絡を取り、トマト苗の誘引作業を行う。
- ・ かなり放置された状態だったので、苗の分芽が顕著で、苗同士が絡み合っていた。その分芽を取り去り1本にして誘引する作業。
- ・ 取り去ったトマトの分芽は灰汁が強く、他の作物の毒になるので纏めて堆肥にするのはNG（石田リーダー談）。窪地に分散する様に撒いた。

### 【昼食】 各自持参・コンビニ弁当等

### 【午後：トマト苗の誘引（継続作業）・大根畑整理・竹林整備】

#### ○ トマト苗の誘引

- ・ 午前中の継続で完了まで行う。

#### ○ 大根畑の整理

- ・ 霊園に上がる途中の左側の大根畑が一面の花盛り（勿体ない）。そのため全て抜き去り、マルチを剥す作業を行う。

#### ○ 竹林整備

- ・ 大根畑の整理を完了し、竹林を眺めると伸びすぎた筍？若竹が目立っていたので、整備しようと言う事になった。
- ・ 伸びた竹は後日テツさんが取るということで、伸びる前の物（筍）を掘り出した。

\* 午後の休憩時に優くんよりフルーツ飴、松本洋子より一口チョコの差し入れあり。

\* 希望者が花咲き大根と筍を頂いた。

（記録：松本 純・洋子）



今年もカルガモがな～に谷っ戸ん田にやってきました。



補植作業開始。それぞれ自分の世界に。



前週が「動」の作業なら、今週は「静」の作業。



「おたまじゃくしがいっぱいいるよ」



トマト苗の分芽摘み



「大根、全部捨てるんですかあ？」



異様な風景。まるで探検隊のマツモト隊長。



## 第8回 『田の草取り、稲の補植、トマト苗の誘引、ハウスの草取り、雑木林の草刈り、竹林整備』

と き：平成22年5月29日（土） 9:30 - 16:30

ところ：な～に谷っ戸ん田、同上のビニールハウス、雑木林、竹林

天 気：くもりのち雨

参加者：石田（午前）、加藤、霧生、久保、坂本、佐々木母、高田夫（午後）、高橋、高見（午後）、  
藤田（午前）、松本夫（午前）（作業11名）  
野地さん、野地さんの友人2人（昼食時）

【午前：田の除草、稲の補植、トマト苗のわき芽かき、ハウスの草取り、雑木林の草刈り】

- 田の除草・稲の補植 … 田車3台を使っての除草。赤米側は往復で二回かかるようにした。白米側は松本さんが一人で田車をかける。良いトレーニングになるとか。補植も行う。
  - トマト苗のわき芽かき … 前回わき芽かきしたトマトのハウス、あらたに一行トマト苗が植えられており、そのわき芽かきを坂本さんが行う。曇りなので、そこそこの石田さんの指示あり。
  - アスパラハウス、茗荷ハウスの草取り … ハウスの雑草取り。スギナが多く、一本ずついねいに抜き取る。
  - 雑木林の草刈り … 刈払い機二台を使用して、久保さん・高橋さんが雑木林の下草を刈る。
- ※ 田車・刈払い機はグリーンのもの。石田さんが用意。

【昼食】久しぶりのハンモックランチ（ふわとろ卵の生姜焼き丼） 野地さんの友人2名が登場



【午後：竹林整備】

- ・ 天候があやしいので、早めに作業に入る。
- ・ あの小さな竹の子が、あちこちでびっくりするくらいに成長している。
- ・ まず伸びた竹を中心に切り倒す。若竹は柔らかくて切りやすい。
- ・ のこぎりの刃を入れると、竹から水がこぼれ落ちる。枯れた竹も少しずつ片づける。
- ・ 途中で小雨模様となり、チャリンコママ・佐々木さんは急いで帰宅。4時をメドに作業を続ける。
- ・ みんな汗と雨でぐっしょりになる。使用した道具はのこぎり4・クワ2など。

\* 午前の休憩時に、松本さんより一口チョコの差し入れあり。

\* 希望者が筍と竹林で見つけた野ウドの芽を頂いた。

（記録：加藤 彰）



休憩場所の丸太椅子の穴に潜んでいたアマガエル。  
棒でつつくと、少し顔を出すのだが・・・。



これから長期間に渡る草との戦いが始まる。



ハウスの草取り。こちらは短期決戦か？



前週に続きトマト苗の分芽摘み(新たな1列)



探検隊の隊長交代？ 竹林はキレイになりました。しかし、右手奥はまだ密林状態。

## 第9回 『田の除草・補植、畑の藁しき、草取り、ネギ苗の定植、さつま芋の植え付け』

と き：平成22年6月5日（土） 9:30 - 16:45

ところ：な～に谷っ戸ん田周辺の畑・下長津田テツさんの田んぼ

天 気：晴れ

参加者：石田、磯（午後）、霧生（14:00～）、久保、坂本、高田妻（10:30～）、藤田（15:00～）、松尾（14:30～）、吉田（午後）、園主（テツさん）、ゲスト（NORA）：鞍掛、坂本 合計12名

### 【午前】 田の除草・稲の補植@下長津田

- ・ 9時半頃に、な～に田っ戸ん田を石田さんと久保さんが車で出発。坂本さんはバイク。
- ・ 恩田駅でNORAのお二人が合流し、下長津田のテツさんの田んぼで10時～11時過ぎまで作業。
- ・ 田車（坂本さんの故郷方言では「ガンづめ」）3台を使って除草。あわせて苗の補植を行う。
- ・ 芝のような草が多く、田車でいじめて沈めたり浮かせたりしたが、どれくらい退治できたか心配。

### 【昼食】 各自お弁当等

### 【午後】 な～に谷っ戸ん田周辺の畑作業

- とっくり芋畑の藁しきと支柱たて … 谷戸入り口の畑。3列に植えられたとっくり芋の種芋から伸びているツル周辺に藁をしき、ニトポールというトンネル用の支柱でツルが巻きつくアーチを作った。
- ネギ畑の草取り … 鎌を使い、同上のネギ畑の草取り。
- トマト苗のわき芽かきと誘引 … 坂本さんが、前回やりきれなかったハウスのトマト苗のわき芽かきと誘引を行った。
- ネギの苗の植え付け手伝い … ハウス上の畑で、テツさんが管理機で植え溝を掘り、クワで均した後、専用機「ひっぱりくん」にてネギを定植。「ひっぱりくん」が上手に植えていくが、チェーンポットのつなぎ目のあたりだけ土寄せが充分ではなかったため、細足のマドンナ中心に手伝った。  
※「苗は溝に植えるんですか？山に植えるんですか？」と尋ねた方がいました。おもしろいですね。  
みなさんは、あのあとネギの生長と土寄せのイメージありますか？
- かぼちゃ苗周辺の藁しき … ハウス裏の畑に植えられたかぼちゃの苗の周辺に、畳をくずしたりサイクル藁を運んで一面にしきつめた。
- さつまいも苗の植え付け … 谷戸入り口の畑に戻り、コガネセンカン（黄金千貫）とベニアズマ（紅東）の苗を植える。各々1+2/3列程度。苗の間は指いっぱいひらいた手のひら程度。少し斜めに挿していく「ふながた」で植えていった。苗が少し弱そうなので、陽が陰る頃の時間になってからのほうがよいというアドバイスをいただいた。

\* \* \* \* \*

- ◆ 17時頃から、な～に谷っ戸ん田の雑木林で、石田さんの知人+その知人の方達によるライブ演奏。
- ◆ ブルース・フォークの弾き語りやアコーディオン演奏等の充実ライブ。
- ◆ 仲間だけで聴くにはもったいないくらい素敵でかっこよかった。
- ◆ 出演：竹内るなさん、スカンクちかのさん、池内光子さん、風丸さん、SALTY ヒロシさん。
- ◆ 19時頃にスコールのような激しい雨が合った為、テツさんがあけて下さった作業小屋に移動。
- ◆ SALTYさんのギターと歌を堪能させていただいた。
- ◆ 吉田さんの同僚の方達もご家族で来てくださった。

（記録：坂本 博満、霧生、補足&コメント：石田周一）



な～に谷っ戸ん田の作業としては、初めての下長津田の田んぼ。ゲストのお二人はかなりはまった様子。



午後からは、な～に谷っ戸ん田周辺の畑作業。とっくり芋畑の藁しき、ネギ畑の草取り。



「ひっぱりくん」でネギの定植。さつまいも苗の植え付け(コガネセンカン、ベニアズマ)。



## 第10回 『田んぼ草取り、苗箱洗い』

と き：平成22年6月12日（土） 9:30 - 18:00

と ころ：な～に谷っ戸ん田、上の作業小屋前

天 気： 晴れ（暑いな～）

参加者：園主、石田（17時迄）、磯（AM）、久保、坂本、佐々木利江&優聖（16時迄）、  
高田夫妻（14時迄）、高見（AM）、田中（AM）、福富（11時～）、野地（合計12名、子ども1名）

### 【午前：田んぼ草取り、苗箱洗い】

田んぼ組と苗箱組（てつさん小屋へ）に別れて作業開始。途中休憩を入れ、昼まで作業を続ける。

\* 開始前に隣の田んぼにへび発見。石田さんが捕まえ土手に逃がすが、お昼にまた、同じ田んぼに進出。  
何が目当てなのか？

#### ○ 田んぼの草取り

〔使用した機材〕 田車3台 刈払機1台

- ・ 田車3台による除草と刈払機による周辺土手の草刈りを行った。
- ・ 田車のみでは、雑草をとることはできなかったため、株間のオモダカなどの雑草を手で取った。まだ取りきれず、来週以降の作業になります。
- ・ そして、赤米エリアでは、補植をした。ただ、苗の間違いも一部あった。

#### ○ 苗箱洗い

- ・ てつさんの作業小屋前で、使用済の苗箱にこびりついている根を1枚1枚手で取り除く。
- ・ 風呂桶2つに水を張り、ブラシで更に汚れを洗い流す。天日に干して乾かし、一箇所にとめる。

### 【昼食】

な～に谷っ戸ん田で食べる。

\* 今日のハンモックランチ：ほうれん草の野菜玄米カレー

その他梅酒のパウンドケーキ、ラスク、ベトナムコーヒー、ジャム各種他

\* 各々ハンモックで休憩。爆睡組が2人。おつかれサマです。



### 【午後・苗箱洗い】

#### ○ 苗箱洗い

- ・ 洗い終えた苗箱を10枚ずつ、荷造り用ビニールひもで両端5cmのところを2箇所束ねる。
- ・ 小屋の屋根下に積み重ねる（全部で430箱）。清掃して終る。
- ・ 途中、てつさんよりお茶とジュースの差し入れあり。

★ 苗箱は種類ごとに分けるので、洗うときから種類を意識しておくべし。

★ メーカー名・品名や穴の形状などで見分けるのだが、なかなかタイヘン。

★ コツとしては、枠の形状に注目するといいうのだ。

### 【夜・蛍観賞】

石田さんは5時ごろに緊急呼び出しがあり、一旦失礼したが、7時過ぎに戻り、柴田さんたちとグリーンで借りた機械の掃除などをした後、一人蛍観賞をした（ちとサミシイ）。

石田さん談「うーん、よかったですよ。ギャラリーが懐中電灯を使わずに静かに見ていたのもよかったです」

（記録：高田 裕司・直子）



田車を回し続けて 夏を待つ



苗箱の 一つ一つに 過ぎた日が



「モエちゃん、やっぱり田の草取りがよかったねえ」  
「洗うの400箱以上だって。二十句ぐらい詠えそうですね」



430箱、洗い終わりました。田んぼの作業は、田植えと稲刈りだけではありません。

## 第11回 『田んぼ草取り&補植』

と き：平成22年6月19日（土） 9:30 - 17:00

ところ：な～に谷っ戸ん田、田奈農協裏の田んぼ

天 気：晴れときどき小雨

参加者：石田、オズ、加藤、霧生、久保、佐々木夫&優聖（AM）、柴田（AM）、高田夫妻（AM）  
（合計8名、子ども1名）

### 【午前：田んぼ草取り】

- ・ 使用した機材は田車（水田中耕除草機）3台。
- ・ コシヒカリ田んぼは手で草取り。取った草は土中に埋めた。
- ・ 赤米田んぼに縦横に田車をかけたのち、手で草取り。
- ・ イネとヒエの見分け方ワンポイント：イネは節に毛がある。ヒエにはない。疑わしきは抜く！
- ・ 手での草取り（一度におよそ一人3列）は四つんばいでの作業。下半身が鍛えられます。痛い部分は腰派と脚派がいました。オズは脚裏全体が筋肉痛です。
- ・ 黙々とやる人あり、隣に並んでおしゃべりしながら進む人あり。
- ・ ユウくん最年少田車デビュー！？
- ・ 森田さんがユウくんにかブトムシをプレゼント。ずいぶん早いカブトムシです。
- ・ 赤とんぼを発見！こちらも早いですね。

### 【昼食】 な～に谷っ戸ん田でお弁当&コンビニごはん

### 【午後：田んぼ草取り&補植】

#### ○ な～に谷っ戸ん田で草取り&補植

- ・ 加藤・霧生・久保 … 引き続き手にて草取り。
- ・ 石田・オズ … 赤米（カンニホ）補植用の苗を寺家ふるさと村のグリーン田んぼへ取りにいった。
- ・ 補植用苗が届き、補植作業を開始。グリーン田んぼの苗はセルトレイにて一本ずつ分かれた形で育てられている。これを2本ずつ補植。
- ・ 持ってきたセルトレイ1枚半分の苗をすべて植えても、ちょっと足りないところあり。
- ・ ベニロマンは、田んぼのわきの方に置いてあった補植用苗で補植。

#### ○ 田奈農協裏の田んぼで草取り

- ・ 田車3台を使用し、田んぼ2枚を草取り。
- ・ 草の生え方は、水の流れの上流に近い側で草が多く、下流側で少なかった。除草剤の影響か。
- ・ な～に谷っ戸ん田と違い、水が少なく、土がねっちり。
- ・ 田んぼ長靴ギリギリのところまで足が土に沈み、くっきり足跡が残ってしまうようなエリアも。脚の抜きさしが疲れる～！
- ・ 疲労して田んぼ沿いのアスファルトに腰掛けた5人組は「あとノルマは一人往復4本」「どうにか自分だけ3本にできないか」「早く終わらせてビールを飲む！」と言いながら完遂。

★おやつ 石田さんのストロベリースティックパイ。ごちそうさまでした。

（記録：オズ）



田んぼに入れるのは、極めてシアワセ。上四枚はな～に谷っ戸ん田、下四枚は田奈農協裏の田んぼ。



## 第12回 『田んぼの草取り』

と き：平成22年6月26日（土） 9:30 - 15:00

ところ：な～に谷っ戸ん田、田奈農協裏の田んぼ

天 気：曇りときどき小雨

参加者：石田、オズ、加藤、霧生、久保、坂本（午前）、佐々木（ゆう）一家、佐々木（みさ）母子、高橋、吉田 合計13名 + ハンモックカフェ（野地）

### 【午前・田んぼの草取り】

○な～にやっとな田の田んぼ：久保、佐々木（みさ）母子・佐々木（ゆう）一家

- ・ 遅れて着いた佐々木家、10時から開始。雑草が見られる看板の方から始める。
- ・ 久保さんの合図で休憩。黒豆ケーキとベトナムコーヒーを頂いたが、その流れでお昼になってしまった。
- ・ この雑草取り、方法が色々あるのかどうかわからない。私は、抜いた雑草を田の土の奥に埋めている。それが、復活してまた出てくるのではなかろうか・・・という不安がいつもある。

○田奈農協裏の田んぼ：石田、オズ、加藤、霧生、坂本、高橋、吉田

- ・ 車とバイクで移動し作業開始。吉田さんと加藤先生が合流して休憩しながら草取り。
- ・ 稲の間の「ウリカワ」は先週よりも成長していた。それをひたすら取っては泥の中に押し込んでいくが、量が多いので、2時間で終了したのは田んぼの1/3程度。まだまだ戦いは続く模様。
- ・ 帰宅後、ネットで調べたところ「ウリカワ」は繁殖力が強く、稲の栄養分を横取りしてしまう強害草とのこと。憎い奴だ！ 「タニシ」と並び田奈では多くみられたが、な～に谷っ戸ん田ではお目にかからないのは何故だろう？

### 【昼食】ハンモックランチ（いずれも美味でした！！）

塩肉じゃかと生姜玄米ご飯、ベトナムコーヒー、限定びわソーダ、黒豆抹茶ケーキ、びわジャム他



### 【午後・田んぼの草取り】

- ・ 田奈グループがな～にやっとな田に合流して開始。
- ・ やり始めは、笑い声も聞こえていたが、赤米最後の頃には皆、無口になっていた。
- ・ ゆうは、何を思ったのか、パンツ一丁で、田んぼ湯につかり、「あったかい」とつぶやいていた。背中には温泉マークの「ゆ」の字が・・・。
- ・ 午後3時、休憩をとるも雨模様となり、お開きとする。いつもこの時間に帰宅する佐々木家はホッとしたが、他の皆は物足りなかったようだ。

### 【雑感】

- ・ お昼休みにみさママが、雑木林で木苺を発見。オレンジ色で確かに甘い。
- ・ 田んぼでは、小さい黄緑色のアマガエルを発見。捕まえられず。稲にヤゴの抜け殻を発見。子供はあまり喜ばないらしい。
- ・ ゆうは、みさちゃんとおうちごっこをして遊んだ。ミミズがでてきて「こんにちは」。
- ・ こんにやくの芽がでている！この間雑草取りをしたハウスが、またヤブカラシとスギで一杯。
- ・ トマトのハウスはジャングルになっていた。ジャガイモも掘り時か（幼稚園のジャガイモ掘は29日だ。1週間延期した）？
- ・ カフェのランチがおいしかった。お昼休みに柴田さんが沖縄のお土産を差し入れに来てくれた。
- ・ 佐々木ご両家より、キャンディーや牛タン塩味のうまか棒等の差し入れもいただいた。

（記録：佐々木 利江、霧生）



田奈農協裏の田んぼで草取りの続き

谷っ戸ん田には、  
早くもカブトムシが。



ついに、な～に谷っ戸ん田に湯が出た？

## 第13回 『田んぼ・畑・ハウスの草取り、鉄さん小屋の整理』

と き：平成22年7月3日（土） 9:30 - 17:00

ところ：な～に谷っ戸ん田、奥のビニールハウス・畑、テツさん小屋

天 気：曇りときどき小雨

参加者：石田(午後)、磯、加藤、霧生、久保、坂本(午前)、佐々木(ゆう)母子(午前)、佐々木(みさ)母子、高橋、高田(午後)、松尾(午後) 合計13名(子ども2名含む)

### 【午前・田んぼの草取り】

- ・ 延々と田んぼの雑草抜き。蒸し暑いが直射日光はなくバテないで作業できた。
- ・ 11:00頃に一度休憩。
- ・ 先週の記録によると田んぼ雑草は「ウリカワ」とあるが、磯の観察によると、谷っ戸ん田にはびこる雑草は「ウリカワ」「コナギ」「オモダカ」の3種である。いずれも養分収奪力の強い強害草。
- ・ 佐々木さんが、田んぼ脇でカブトムシを見つけた。ヤゴの抜け殻が稲にくっついている。夏が来たんだなとうれしく思う。

### 【昼食】

- ・ 野地さんが来ないとランチタイムの楽しみも半減。お弁当組とセブンイレブン調達組。
- ・ ゆう君からなぜトランプを持って来ないのかと問い詰められる。次回を約束して勘弁してもらう。

### 【午後・田んぼ草取り、畑・ハウスの草取り、小屋の掃除】

- な～に谷っ戸ん田の田んぼ
  - ・ 引続き、田んぼの中、田んぼ回りの草取りをする。とりあえずやっつけたと思う。
  - ・ 高橋さんは特命で稲を丸める害虫(虫の名前は?)を退治する。50匹退治したとのこと。
- じゃが畑、アスパラハウス
  - ・ 草取りする。
  - ・ アスパラハウスはヤブカラシとスギナが繁茂していた。アスパラを折らないように丁寧に除去。加藤さんの職人芸に一同感嘆。
- こんにゃく畑
  - ・ 草取り中に、15:00前ごろ雨が降り出す。休憩も兼ねて一旦退散。
- てつさん小屋
  - ・ 雨は降ったり止んだりだったが、作業を切替えて小屋の整理をすることとした。全員移動。
  - ・ 小屋内の整理。2月に仕込んだ味噌を奥のガレージ(乾燥機がある倉庫)に移動する。8樽を移動(うち2樽はてつさんが自宅に持ち帰ったので現在保管されているのは6樽)。
  - ・ うどんの乾麺をチェックしたところ、大変残念なことに虫がわいていた。石田さんの判断で廃棄することとした。
  - ・ 大豆を袋詰めにし石田さんに託す。グリーンで保管して下さる?
  - ・ 小屋の内外を清掃した。大分きれいになったと思う。
  - ・ 養蜂をやってらっしゃるワクさんが遊びに来た。次回、恩田産無添加ハチミツを販売して下さるとのこと。600g瓶で1,000円。高田さんが購入希望者取りまとめ予定。
  - ・ 柴田さんがNORAの友人2人を連れて遊びに来た。てつさんと談笑する。17:00ごろ解散。

### 【雑感】

- ・ 雨に対する備えは各人の責任ですが、いざという時のために100円ショップのかっぱを谷っ戸ん田の物置に20着ぐらい常備しては?使った人がその場で購入するというスタイルで。
- ・ 暑気払い幹事募集中とのこと。そば打ちをしないと。暑くなるとそば粉もまずくなりますし。

(記録:磯 直行)



一步一步、雑草を見つけ抜いていきます。



「何か悩み事でも？」「尻もちの写真がHPに掲載されるかも・・・」



2月に仕込んだ味噌を倉庫へ移動。

## 第14回 『田の草取り、大豆の種まき』

と き 平成22年7月10日(土) 9:30 - 17:30

ところ な～に谷っ戸ん田、堀の内の畑

天 気 晴れときどき曇り(梅雨の晴れ間、暑い風が吹くと涼しさあり)

参加者 石田、磯、オズ(12:00まで)、加藤(14:30まで)、久保、坂本、佐々木利江・  
優聖(16:30まで)、柴田、高見(12:00まで)、松本純・洋子(15:00まで)、吉田  
合計12名 + 子ども1名 + ハンモック研究会・野地

### 【午前】

- ・本日は大豆作業が主であったが、前夜の雨で畑がぬかるんでいるため、午前は田んぼの作業に。
- ・石田さんから鎌の研ぎ方を教わり、砥石が1つだけなので、順番を待ってそれぞれ研ぎ始める。
- ・石田さん、吉田さんは、午後の作業に備え堀の内へ。トラクター準備、法面草取り、ぬかるみ調査。
- ・前週にお願いした恩田産無添加ハチミツを和久さんが持ってきてくれた。地産地消なり。
- ・鎌を研いだ人から谷っ戸ん田の周りの草を刈っていく。
- ・一汗かいて11時に休憩。さっそく豆吉号にてアイスコーヒーを注文する人も。
- ・田んぼ周辺の草刈りがほぼ終わり、次は田の草取りへ。5週連続の作業となった。

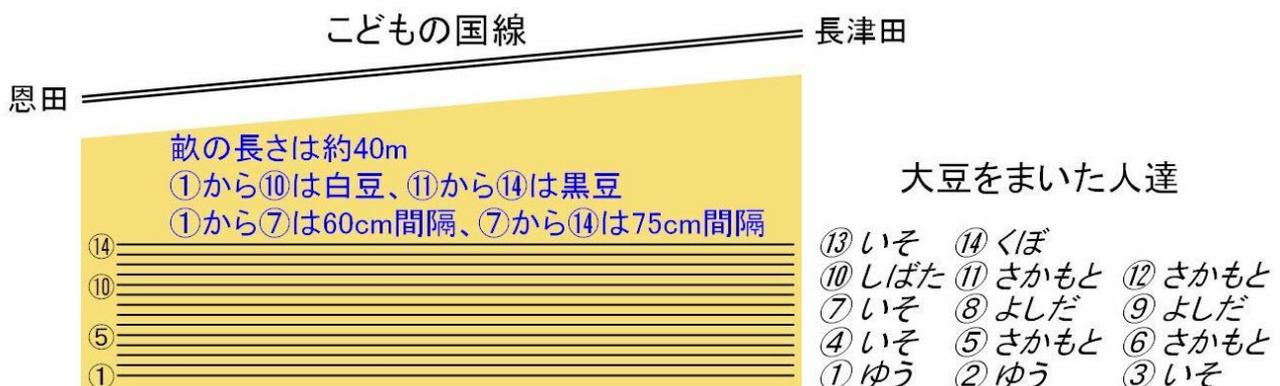
### 【昼食】ハンモックランチ(冷や汁玄米ご飯、他)

- ・ランチの後は、色とりどりのハンモックが満席。午前の作業は、きつかったようだ。
- ・久保は、本格的な虫網を使ってオニヤンマを待つが現れず。決戦は次週へ持ち越し。
- ・午後の作業前に、石田さんが今年度の作業計画を説明。今年は責任を持って大豆をやることで合意。

### 【午後】

- ・堀の内の畑へ自転車、バイク、自家用車、グリーン社有車(バン、軽トラ)を使って11名が移動。
- ・石田さんがお手本としてトラクターでまず耕す。その後は、柴田さんと吉田さんが運転。
- ・石田さんがバケツに入った大豆(約3kg)にキヒゲンをまぶす。薄黄色から鮮やかな赤へ変身。
- ・キヒゲンの正式名称は、キヒゲンR-2フロアブル(チラウム水和剤)。種子消毒と鳥類の食害を防止。
- ・その他の人達は、畑の周りの草取り。大場さんの畑の草取りも。
- ・14時半過ぎに加藤さんが帰宅。15時前には松本夫妻が帰宅。残りは8名。これからが本番なのに。
- ・15時になって休憩。吉田さんがガリガリ君をバイクで買いに行く。見事に当たりを出したのは柴田さんのみ。ガリガリ君の当選確率は1/8であることが判明。
- ・クリーンシーダ(ロール式播種機)を使って、種まきスタート。詳細は下記の図に。
- ・種まき完了後、石田さん、磯さん、柴田さん、久保は谷っ戸ん田に戻り片付け。17:30解散。
- ・さらに、石田さん、柴田さんはグリーンで最後の片付け。

(記録:久保 文雄)





田の草取りは鎌の研ぎ方から開始



ハンモックランチ「冷や汁玄米ご飯」の後のハンモックは満席



「証拠写真まずいなあ。真っ直ぐ行ってますよね？」



キヒゲンでコーティング



「ママ、お豆落ちてる？」「たぶん・・・」



「こぼしちゃった・・・」手で播いた方が早いかも」

## 第15回 『田の草取り、ネギ及び大豆畑の草取り』

と き 平成22年7月17日(土) 9:30 - 16:00

ところ な～に谷っ戸ん田、番匠谷戸奥のネギ畑、堀の内の畑

天 気 ほぼ快晴、真夏日(当日、九州北部～東北地方まで広い範囲で梅雨明け宣言。九州南部はまだ。)

参加者 磯、加藤(昼まで)、久保、佐々木一家3人(15:00まで)、柴田、高田直(少々遅れ)、高見、  
田中、松本純、藤田(午後から)、吉田(昼前から) ゲスト・福井さん+姪  
合計13名 + 子ども2名

### 【午前】

- ・ 先週に引き続き、田んぼの草取り(1.5h)。田車なし、手作業のみ。たった一週間でコナギが大きく成長している。オモダカも目立つようになってきた。水が太陽熱で随分と温かい。11時休憩～熱中症予防に水分補給。
- ・ ネギ畑に移動し、長ネギ用に掘った溝を埋めないようにして除草。隣接するピーマン・シシトウ畑の草取り(計1h+)。

### 【昼食】

- ・ ハンモックランチが休店のため、各自。
- ・ 高田さんの差し入れ朝採りミニトマト。

### 【午後】

- ・ 堀の内の畑へ移動。
- ・ 先週蒔いた大豆が早くも10cm程度に成長している。
- ・ 軽く土寄せをする。
- ・ 食害されたのか部分的に発芽していないので、追蒔き。大豆はキヒゲン処理済種。黒豆は未処理種。
- ・ さすがの暑さで優君が少々堪えたので、佐々木親子少し早めに切り上げ。
- ・ 作業終了後、ガリガリ君を柴田さんが買いに走る。日陰がないので、わずかな車の陰で休息も。この日は当たりなし(9-0)で打率低下。ここで解散。
- ・ 久保さん、柴田さん、(吉田さん?)は谷っ戸ん田に戻り、鍬の片付け。16:00解散。

(記録: 高見 元久)





「足がヌルヌルするけど、田んぼっておもしろそう」



「ゆう君、トンボとまった?」「シ・ズ・カ・ニ…」



「う〜ん、蕎麦食べたい」



「マドンナ、後遺症は?」「ナニ?」「尻もちの…」



大豆人(だいずんちゅう)



大豆は1週間で10cm近く成長!

## 第16回 『こんにやく畑、大豆畑の草取り』

と き 平成22年7月24日(土) 9:30 - 16:30

ところ な～に谷っ戸ん田、谷戸奥ハウス裏の畑、堀の内の畑

天 気 ほぼ快晴、真夏日(東京で4日連続の猛暑日は気象庁開闢?以来の記録とか)

参加者 石田、磯(昼から)、霧生(3時まで)、高橋(3時まで)、福富(昼まで)、松本洋子(3時まで)

ゲスト・福井さん+姪の瑞希ちゃん(小1)、大沼さん(それぞれ1時半まで)

ハンモック研究会・野地さん 合計9名 + 子ども1名

### 【午前】

- ・ 少数精鋭レギュラープラス助っ人で谷戸のハウス裏の畑の草取り、こんにやくとかぼちゃを覆っている草を抜き取る。やがて畑はすっきりと。石田さんは草刈機で周りの草刈。ゲストの福井伯父は草刈機を習う。あまりの暑さに午前中に2度休憩、休憩中のウメソーダに身も心も洗われる。グリーン産ブルーベリーは即刻完売

### 【昼食】

- ・ 堀の内に移動する前にハウスのトマトを収穫するも、ハウスはジャングル状態で収穫もいまいちだった。もう少し、手をかけて管理をするべきと思った次第である。
- ・ ハンモックランチ トウモロコシの夏ご飯、カフェメニュー ウメソーダなど
- ・ テツさんは、コマツの社員とノギリクワガタオス2匹、カブトオス1匹捕まえてごきげん
- ・ 一方、ミズキちゃんは詩吟を披露、その後ハンモック初体験
- ・ 霧生さんの岩手土産(かもめの卵)、高橋の岩手土産(ゴマせんべい)・・・一緒に岩手に行ったとか行かないとか、この手の話は加藤先生や高見さんがいないせいか、まったく盛り上がりせず。
- ・ さらに、石田さんより高級メロンの差し入れ、田んぼの用水のマスでたんと冷やしていただきました。

### 【午後】

- ・ 堀の内に移動する前にハウスのトマトを収穫するも、ハウスはジャングル状態で収穫もいまいちだった。もう少し、手をかけて管理をするべきと思った次第である。
- ・ 石田さんは雑木林のジャングルに挑戦、刈り払い機で蜂の巣をぶったたき、群に襲われる。が、小さめの蜂に左手薬指と右の頬を刺されたのみ、ムヒを塗って、腫れもせずダイジョウブだった。さすがは野蛮人とほめられた石田さんですが、翌朝から手が腫れて、午後から頬も腫れてくる。それでも、自宅で飲んでからビアバー、さらに2軒をハシゴしたからというわけではないが、翌々日になって、手と顔が腫れているとの事後報告あり(当たり前の自業自得というヤツ)。
- ・ 堀の内の畑へ移動。先々週蒔いた大豆は順調に成長していると思われる。ところどころにピンクの豆が露わになっているので、そっと土をかぶせる。これは先週の追い播きの分。追い播き後雨が少ないせいもあるが、発芽が少ない。
- ・ 草取り完了。草は少なかった、鎌でおっかいて退治。
- ・ 石田さんと磯さんがトラクターで耕運する(大豆横の未耕部)。さっそく、6羽の椋鳥が虫を啄ばみにやってきた。
- ・ 石田さんは畑周囲を草刈機で草刈。
- ・ 霧生さん、松本さん、高橋は所用があり3時で終了。
- ・ 堀之内畑の耕耘完了後解散のはずが、なぜか谷っ戸ん田で再び石田さん磯さんが遭遇。
- ・ 田んぼ隅に植えてあった補植用苗がぼうぼうに伸びていたためふたりで引っこ抜く。抜かずに放っておくと病気の原因になるんだとか。
- ・ 引っこ抜いた苗の中からはなぜかカブトムシ出現。こやつ暑さでとち狂ったか。カブトムシ、ゲンゴローではないわいな(オソマツ)

16:30再解散。

【その他】

- ・ 引っこ抜いた苗の中からはなぜかカブトムシ出現。こやつ暑さでとち狂ったか。カブトムシ、ゲンゴローではないわいな（オソマツ）
- ・ 松本さんから「暑気払いの日程を8/7(土) 15:00(準備開始)、17:00(本チャン開始)にしたい」との相談がありました。各自一品(逸品?)持ち寄りスタイルで。
- ・ なにか軽く調理したいですね、ということで暑さもふっとぶトムヤンクンでも、というアイデアが出ています。

(記録 : hi-lucky 高橋)



真夏日に谷戸で汗かきハンモック

## 第17回 『谷っ戸ん田、こんにやく畑、奥のネギ畑周辺の草取り』

と き 平成22年 7月31日（土） 9:30 - 14:00

ところ 谷っ戸ん田、谷っ戸ん田上のハウス周辺、奥のネギ畑

天 気 曇りがち（先週よりは凌ぎやすい日和とのこと）

参加者 加藤（午前）、霧生、久保、坂本、佐々木ママ・智広・美紗（午前）、高橋、百崎母子（午前）、松本夫婦 計12名（子ども3名含む）

### ★午前 9:30スタート

- 谷っ戸ん田周辺及びこんにやく畑周辺の草刈り 全員
- 加藤先生調達の左利き用鎌（若干代 195ミリ）3本をレフティトリオ（先生・久保さん・松本）が早速初卸し。もう一人のレフティ、高見さんごめんなさい。切れ味は勿論抜群だが、何より普通に使える（今までは逆手で刈っていた）事に感激。作業も捗った！？
- 左利きに限らず、他のメンバーもたっぷり汗をかいて午前中の作業終了。
- 休憩時間に松本より、長崎土産の長崎物語の差し入れあり。

### ★昼

- 各自持参または調達にて。
- 昼休みに久保さんの北海道一人旅でのエピソードを伺う。網走付近の山の湖までレンタサイクルで行った顛末を一同興味深深で聞き入った。この分では、まだまだ面白い話しが出来そう。続きは暑気払いでのお楽しみ！

### ★午後：奥のネギ畑周辺の草取り

- 午後のメンバー全員
- 堀の内の大豆畑も気掛かりではあったが、奥のネギ畑の雑草も放っておかず、その周辺の草取りを行う。
- この作業を終了したところで、午後のメンバーが全員ロートルでもあり、今日は無理せずお開きにしようと言うことになった。
- 14:00全作業終了。
- 作業後にテツさんのトマトハウスより、6名分のトマトを収穫させて頂く。予めテツさんには許可を得ており、事後申告で、来週代金をお支払いすることになっている。

（記録：松本 純）



お米の赤ちゃん、いや幼稚園生、それとも小学生かな



レフティ(左利き)用の鎌入荷。この写真の撮影者もレフティ。谷っ戸ん田の底力は、実はレフティにあり？



バッタ、捕まえたよ！



谷っ戸ん田を蹴っ飛ばせ！ おいおい、疲れてないかい？



形は揃っていないけれど、味は抜群！



コンニャクが育ってきました。

## 第18回 『大豆畑の草取り、暑気払い』

と き 平成22年8月7日(土) 15:00 - 21:30 (その後、二次会あり)

ところ 堀の内の畑、園主の作業小屋

天 気 快晴

参加者 石田、霧生、久保、坂本、柴田、高田夫妻、高橋夫妻、福富、百崎母子、松尾、松本夫婦、  
吉田 計16名(子ども1名含む)

### ★15時に大豆作業と暑気払い準備がスタート

- 久保、松本夫妻、霧生さん、高田裕司さんの順で、作業小屋に集合。掃除やテーブルと椅子の準備を始める。
- 石田さんが軽トラで登場。堀の内の畑へ。柴田さんと吉田さんは直接現地へ。中耕除草の作業を3人で開始。14畝なので1人4往復以上。株元に草が残るが気にしてられない。暑気払いの練習は読んでいたが、気にせずクワをふるう。さすがチームグリーン！回り刈りもしておく。お盆ですから…。
- 今回は、火熾しがなかったため、暑気払いの準備はすぐに完了。堀の内の3人には申し訳なかったが、1回目の練習を15:30に。
- 16時前に、坂本さん、高橋広明さん、福富さんが同じこどもの国線を使って到着。
- 早速、2回目の練習を開始。ただし、つまみはおあずけ。
- 福富さんの歴史レクチャーが始まり、誰も止められない。運良く松尾さんが現れ、レクチャーはうやむやの形で終了。

### ★17時過ぎに正式開演

- 石田さんと柴田さんが堀の内から無事に帰還。次に柴田さんが吉田さんを迎えに再度堀の内へ。戻ってきた軽トラを今度は石田さんがグリーンへ。石田さんが自転車で戻り、暑気払いが本格的に。

### ★19時過ぎに全員集合

- 百崎母子、高橋美恵子さん、高田直子さんが到着し、参加予定者が全員終結。宴はピークに達した。
- 差し入れメニュー(ご参考、敬称略)
  - 松本 お稲荷さん、ポトフ風スープ(現地で料理、会費徴収)
  - 坂本 石垣島産ドラゴンフルーツ、横浜産カキピー / 松尾 ゴーヤチャンプル
  - 高田 ゆでオクラ、伏見甘長とひき肉の佃煮風 / 霧生 ゴーヤと豆を使ったサラダ2種
  - 百崎 鶏手羽元の赤ワイン煮、ワイン / 久保 帆立ソフト貝柱、スモークサーモンチップ
- まるちゃんのヤットンダ踊り、高橋美恵子さんのギターで大いに盛り上がった。久保は拓郎の「落陽」で美恵子さんとデュオ。いつも飲むと止まらないが、少しガマン。石田さんもギターでブルースのパフォーマンスを。

### ★21時半に一次会解散

- 名残惜しくも集合写真を撮って解散。石田さん、久保、柴田さん、高橋夫妻、吉田さんが残って、そのまま二次会に。アルコールが足りなくなり、久保持参のビール券を使って買い出しへ。何時に二次会が解散となったかは、覚えていない(たぶん11時過ぎ)。覚えているのは「しぼったばかりの夕陽の赤が・・・」。

(記録：久保 文雄)



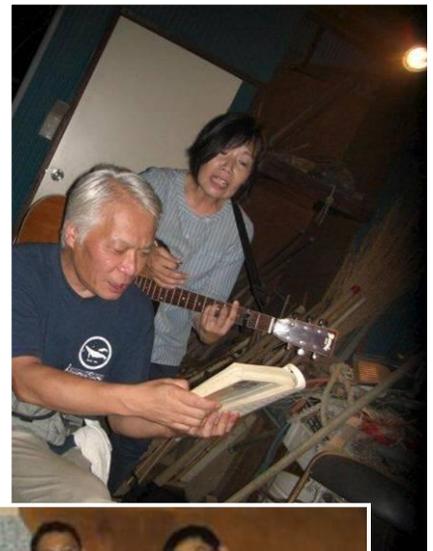
「イシダさん、乾杯は始まってますかね？」「クボさんは間違いないね」



「カンパイ！（イシダさん、シバタさん、ゴメンネ）」



ヤットンダ踊りの大熱演



「♪しぼったばかりの夕陽の赤が…」



## 第19回 『田んぼの糸張り、堀之内の大豆畑の草取り』

と き 平成22年8月14日(土) 9:30 - 15:30

ところ な～に谷っ戸ん田、堀之内の大豆畑

天 気 曇りがち(前日の雨のせいか湿度が高い)

参加者 石田、オズ、久保、佐々木利江、坂本、高田裕司、田中、福井・みづき(午前)、  
松本夫妻(午前)、百崎恵美(午前)、ハンモック研究会(野地、渡辺)  
計14名(子ども1名含む)

### ★午前9:30スタート

谷っ戸ん田の田んぼの糸張り。支柱を3本1組にして、長手方向に8本×2、短手方向に2×2の計60本刺し、ビニール紐で結んで、防鳥糸を張る。支柱をしっかりと立てて、倒れないように工夫する。休憩後、田んぼの草取りと堀之内・大豆畑の草取りの二班に分かれて作業。

〈大豆畑組〉 石田、オズ、福井、百崎、松本夫

大豆はけっこう大きく育っていた。根元に雑草がちびちび生えていた。

☆前夜の雨ゆえぬかっているかと思っただ、ダイジョウブ。

前週の中耕により株間の草は少ない。株元に残っていた草を取った。刈り払い機で草刈りをして、道路に面した畑まわりと溝をキレイにした(これは大事な作業・写真あり)。

### ★昼

ハンモックのピビンバトマトうどんを皆さんで頂く。ピリ辛のタレにトマトと胡瓜、紫蘇、豚肉が絡んでいて、食欲増進！  
バナナアイスや炭酸も人気でした。高田さんにお米で出来るパン作り機の話の伺う。興味津々。



### ★午後 13:50～15:30くらいまで

午前に引き続き堀之内の大豆畑の草取り。

☆秋ジャガ予定地は、けっこう草が出て来ていたが、トラクターは入れず、大きめの草のみ取る。

3人がな～に谷っ戸ん田にもどり、道具を洗って片付け、テツさんに挨拶して解散。

テツさんはこれから植えつけるトマト(大安吉日という品種)の苗の鉢上げをしていた。



※高田さんから一関の松栄堂製団子のお土産。これは午前の休憩のとき(写真あり)。

※食後のデザートに石田さんより甘いウリの差し入れあり。大場農園のマクワウリでした。これは昼寝のあと午後の作業前(写真なし、残念)。

※作業終了後は、水で冷やしたトマトとみんなでいただき、解散しました。

(記録: 百崎 恵美、田中 萌)



上:大豆畑の草取り 右:溝もキレイに(大事な作業)



お盆の頃の年中行事「糸張り」



松栄堂は明治36年創業。  
伝統の味はいかがですか？

お米の赤ちゃん



## 第20回 『じゃがいもの植え付けと草取り』

■と き：平成22年8月21日（土）9：30～13：30

■ところ：堀の内の畑

■天 気：晴れ時々曇り

■参加者：石田、オズ、霧生、久保、坂本、高田夫妻、高橋、田中、松本夫妻、百崎ハハ、吉田

NORA：福井、みづきちゃん 合計15名

■内 容：

【作業】10時頃～12時頃

- ・谷っ戸ん田の広場で集合後、車3台+バイクにて堀の内の畑へ移動。
- ・大豆の横の空いたスペースの草取り。
- ・グリーンから借りた機械（管理機×2台、トラクター×1台）で、植え溝を切る作業を数人が交代で行う。
- ・秋作のじゃがいも（出島）の種芋は、小ぶりのものはそのまま使い、大きめの物はどちらにも芽を残すように気をつけながら包丁にてカット。カット面を上にして少し乾燥させた。
- ・芽を上にした状態で、植え溝に約30cm幅で種芋を置き、土をかぶせていった。（計9+1/3列）
- ・じゃがいもの収穫は初霜の降りる頃。12月中旬以降か？

※気温は高いが湿度が低く、作業はし易かった。しかし、まだまだ油断できないので、十分に休憩と水分補給をしながらの作業。みづきちゃんから配られたキャンディーが美味しかった。

※先週、丁寧に草取りをしたせいか大豆は大きく育っており、花を咲かせているものもあった。秋の大豆の収穫が楽しみだが、季節柄か「少し枝豆で食べてみたい」といった声に参加者から聞かれた。本日の作業はこれにて終了！

【田んぼの様子】

- ・コシは穂が垂れ始め、一部色づき始めているところもある。  
9月中旬には刈れるだろう。（去年は第3土曜だったが、それより早いかも）
- ・ベニロマンは葉に枯れている部分がありちょっと心配。
- ・ヒエの姿は見当たらない。

【昼食】

- ・先に帰宅した数人を除き、各自コンビニで購入した昼食を広場でいただく。
- ・高橋さんの故郷、岩手県和賀郡「タカハシ」製造の人気菓子を頂戴した。
- ・申し合わせた訳ではないのに、買って来た昼食は全員、麺類！！中でも中華麺の人气が圧倒的。

途中、テツさんが「ハンモックは～？」と合流したが、残念ながら本日はハンモックカフェがお休み。それでも、スイカを丸ごと持ってきて下さり、カブト虫を見ながら全員で美味しく頂き、幸せな気持ちで解散した。



（記録：霧生）

大豆の開花



大きいじゃがいもは半分に切ります。品種は出島。



園主がいたら、カミナリが落ちていたかも？



連携プレーその1。左から右へ作業が流れていきます。



連携プレーその2。中年男子組み。



「今日は切る作業が、何故か私にきます」

## 第21回 『田んぼの草取り』

■と き：平成22年8月28日（土）9：30～12：00

■ところ：田奈農協の裏の田んぼ

■天 気：晴れ

■参加者：石田、オズ、加藤、坂本、柴田、松本夫婦、佐々木ハハ、優。合計9名

### 【作業】10時頃～12時頃

- ・谷っ戸ん田の広場で集合後、車1台+バイクにて移動。
- ・田の畦道は、石田さんが草刈機にて刈る。
- ・主な雑草は、稗。稲の倍くらい伸びている。
- ・水路側の雑草がすごい。これがまた、強力な根を張り、とても根から取れない。
- ・鎌で刈るが、稲と同じところに生えていると稲も一緒に刈ってしまうから、ごめんなさいの連発。
- ・この田んぼの草取りは、記録によると6月に2回ほどやっているが、私は初めてだった。
- ・田んぼの土がゆるく、足を入れるととても深く、田んぼ靴でなければ作業不可。
- ・裸足で格闘していた坂本さんは、稗を根ごと取っていたから驚き！
- ・作業中、優は、テツさんから差し入れのキュウリを石田さんのクーラーボックスに冷やしておいたのを「キュウリいらなかね～」と叫びながら、我々の作業を監督していた…結局、片付いたのは1枚だった。
- ・暑さと足の疲労で稗との格闘は、昼で終了。
- ・オズさんは、田奈駅まで歩いて行った。お尻の汚れが思った以上にひどく、車中どうだったか。

### 【昼食】

- ・コンビニ弁当で石田さん、優、ハハと3人で食べた。
- ・昼食後、おなか休めで田んぼのあたりを優と一回りした。
- ・ときおり、バツタが飛ぶのでそれを捕まえようと試みるが、そんなにのろまではない。
- ・13：30、優とハハは、土缶の上で寝ている石田さんに別れを告げて帰途につく。
- ・優は、すぐにチャリの後ろの席で爆睡！暑そうで気の毒・・・。
- ・加藤先生からお土産の温泉たまごというあんこのお菓子を頂いた。
- ・テツさんからは、キュウリを頂いた。

### 【ひとり谷戸】

- ・石田は土管の上で昼寝。セミの合唱の中で孤独を楽しむ。
- ・13時半過ぎから刈り払い機で田んぼの周りの草刈り。
- ・その後、田んぼ上のハウス作業でテツさんを手伝ってセロリの植え付け。
- ・田んぼの豆ぐろをふさいで、赤米エリアだけに水が入るようにした。16時に終了。
- ・田んぼの様子。コシヒカリが色づいて秋の色。
- ・コシの黄色と赤米の緑でツートンカラーの田んぼ。
- ・観丹穂の出穂が始まっている。ベニロマンは少し遅れている。コシは水を切り、赤米には水を。

（記録：チャリママ佐々木、石田 周一）



稗田



谷っ戸ん田

## 第22回 『田んぼの稗刈り』

と き 2010年9月4日(土) 9:30~16:00頃  
ところ JA田奈の裏のたんぼ、谷っ戸ん田のたんぼ  
参加者 石田、佐々木利江&優聖、高田直子、高橋、松本洋子、磯(昼)、吉田(PM)  
計7名+子1名

午前 谷っ戸ん田に集合。グリーン車でJA田奈の裏の田んぼへ移動。

先週の隣のたんぼで稗を刈る。やはり道路手前側が圧倒的に多い。稲が見えないほど大きく育っている。水がはってあるので田んぼ長靴を着用。泥に足が取られる。

稗は鎌でなるべく地際近くを刈るようにする。  
稲と混ざってわかりづらいものは、上のほうでもOK。根こそぎ取れるものは取る。

\*上のほうで刈ってしまうと、数日でまた稗の穂(?)が出てしまうため、なるべく下のほうで刈るのがベスト(石田さんより)

優くんは体調不良のため車で荷物番。田んぼには近づかず。

今日は横浜も猛暑日で、各自休憩とこまめの水分補給を心がける。  
車の陰と水路の水のおかげで、休憩も快適。先週より楽との声も。

昼近くに磯さんも合流。ほどなく私たちは昼休憩で谷っ戸ん田へ戻るが、磯さんは自主的に残り一人作業を続ける。(だいぶ刈ってありました!)

昼 途中JA田奈に寄りショッピング。何故かみんな心が弾む。  
今日は全員コンビニ弁当。麺類が主流。夏太りが話題に。

吉田さんから富士山のお土産のお菓子をいただく。富士山登頂おめでとう!

午後 14時頃から作業開始。谷っ戸ん田の稗を取る。こちらは稗もちらほら出ているだけで、手で根こそぎ引き抜く。今までの雑草取りの成果がここにきてはっきり出ていた。ほんの10分程度で終了。この間、優くんは17か所蚊に刺される!

その後、各々田奈に移動。午前の続き。優くんは「昼を食べたら帰る」と言っていたが、調子がでてきて田奈まで来てくれる。石田さんが途中アイス差し入れてくれる。(待ってました!) もう一枚の田んぼの稗も刈り、刈り取った稗を脇によける。16時頃終了。石田さんは後片付けの為、谷っ戸ん田へ戻る。(ありがとうございます)

(記録:高田直子)



## 第23回 『稲刈り(コシヒカリ)』

と き 2010年9月11日(土) 9:30~16:00

ところ 谷っ戸ん田のたんぼ

天 気 晴れ

参加者 園主、石田(午後の段取り説明まで)、磯、加藤、久保、坂本、佐々木夫&利江&優聖、高田直子、高橋、田中、福井&みづき(午前)、福富、松尾、松本純&洋子、百崎夫&恵美子&マル (計18名+子3名)

ゲスト: 矢島&さくらさん、鶴岡さん

### 午前 コシヒカリの稲刈り

田んぼに張りめぐらしている鳥除け用の糸を巻き取る。支柱は稲架架け(はざかけ)に利用するため回収せず畦に置く。赤米部分は糸を張ったまま。

稗はほとんど生えていない。

田んぼの手前と正面の幅約2.5m部分を、バインダーが回転するスペースとして手刈りする。一条刈りバインダー(クボタ製)を使用、後半1台(クボタ製)追加2台となる。

ポニー(スチール製架け干し用足場)を1列(6本×2段)組み立て稲を干す(はざかけ)。

### 昼 ハンモックランチはバインミー&野菜スープ

注文が多く、大場奥様&姉妹、高田、松本が手伝う。注文が多いのは、PARC自由学校の受講生約20人が来田のため。

(午前は大場農園の草取り、ハンモックランチ&ハンモック休憩の後、午後はグリーン農園というカリキュラム)



お土産各種あり、11時、昼、午後休憩を含めて以下の通り。

園主テツさん(大牧温泉@富山)、松本(オランダサブレ@長崎)、百崎(博多まるん@福岡)、矢島(せんべい菓子)、みづき(マンゴーチョコ@台湾?)、優聖(サクマドロップ)

高見タンザニア国より帰国挨拶(チョコレート@ドバイ)

### 午後 稲刈り、はざかけ、かたづけ

残り部分(田んぼ右側)をバインダーで稲刈り

ポニーを2列組み立てる(6本×2段と3本×2段)。

3列のポニーに鳥除け用糸を張る(糸は3段)

落ち穂拾い、約1束分あった。

バインダー2台を洗う。

※今年の収穫量はポール30本分、昨年はすべてコシヒカリで、その収量はポール36本+堆肥置き場の手すり2本だった。

(記録: Hi-lucky 高橋)



田んぼの周囲を手刈りでスタート。



稲刈りとはざかけが並行して順調に進んでいく。



しかし、運搬効率が悪く協議に入る。

「ワタシのTシャツと同じ色でしょ？」



稲刈りとハンモック。谷っ戸ん田の風物詩。



## 第24回 『堀の内の田んぼの稈取り、堀の内大豆・じゃがいも畑周辺の草刈』

〈とき〉平成22年9月18日(土) 9:30~16:00

〈ところ〉堀の内の田んぼ・堀の内大豆・じゃがいも畑

〈天気〉晴れ

〈参加者〉石田、オズ、久保、坂本、佐々木(チャリママ)、高橋、高田(直子)、松本(純)

計8名

### ★ 午前 9:30 スタート

谷っ戸ん田広場に集合後、石田リーダー運転のグリーンのワゴン車で堀の内へ全員移動(チャリママは現地合流)。

昨年は赤米を植えた田んぼ。今年はテツさんがコシヒカリを植えている(一部種用にキヌヒカリも植えている)が、田植え後は手付かずの状態、まるで稈畑かと思うほど。

周囲を石田リーダーが草刈り機で刈り込み、各自田んぼ長靴を履いて入田。ひたすら稈取りに勤しむ。先は長そう。

全体の52%(と思ひこむ)の稈を退治したところで、午前の部を終了。グリーンのワゴン車で谷っ戸ん田広場に戻り昼食を取る。

### ★ 昼

各自コンビニにて調達。いずれも麺類主体の食事を、蚊と格闘しながら取る。昼休み中チャリママより自家農園製ナスの差し入れ(お土産)を頂く。

### ★ 午後

再び全員で堀の内の田んぼ残り48%の稈取り作業に勤しむ。

途中石田リーダーが大豆・じゃがいも畑周辺の草刈に出向く。稈取りに戻って来てからは、やたらとくしゃみを連発。稈に当たったか?(久保さん曰く、稈症とか)

そうこうしている内に作業も進み、田んぼらしく一面稲の風景になり、作業終了。他の田んぼで稲刈りを終えたテツさんが顔を出し、笑顔で労ってくれた。

16:00 全作業終了。

作業後に、オズさんからチロルチョコ(秋バージョン)とチャリママからライオネスコーヒークャンディーの差し入れ有り。谷っ戸ん田に戻ってテツさんから、お茶・ポカリの差し入れを頂く。

\* 谷っ戸ん田の状況: 掛け干ししている稲は、見た感じでは十分乾いている様だったが、籾を取った玄米を奥歯でかじってみると、未だ生乾きの状態(カリッとまでは行かない)なので、天気が安定していれば来週くらいが脱穀のタイミングとしては良いのではないかと。

(記録: 松本 純)



取っても取っても減らないヒエ



ヒエ取り見学に警察も出動???

ついに田んぼらしい田んぼとなった。抜いたヒエは何本だったのだろう。



## 第25回 『イチゴランナーとり・マルチ、ナバナ種蒔き、 トマト定植・誘引、ネギ畑草取り・土寄せ、ダイコン種蒔き、にんじん畑草取り』

〈とき〉 平成22年9月25日(土) 9:30~17:00

〈ところ〉 イチゴハウス、谷っ戸ん田周囲、谷っ戸ん田の奥のハウス、その奥のネギ畑、墓地下の畑

〈天気〉 晴れ(朝は一気に初冬のような寒さだったが、昼にはぽかぽかに!)

〈参加者〉 石田、磯(午後途中から)、オズ、加藤(昼前から)、霧生、久保、坂本、佐々木夫妻・優聖、  
佐々木美紗ママ(午後途中から)、高田(妻)、高橋、松本夫妻、百崎妻・まる(昼前から)  
計17名

〈午前〉 イチゴハウス 品種：章姫(あきひめ) 胸の高さの8台×2列+1台のみ地上席×2列

(1) ランナーとり

ランナー(イチゴの株元から出ている横倒しになったつる)を指で除去。株元にある2、3枚の葉も取る。これはいずれ伸びてランナーになるため。同時に、クローバー等の雑草も取る。除去したランナーは一部の方のお土産になる。根付けばちゃんと実がなるそう(by園主)。♪おやつ♪優聖くんの配るエンゼルパイ&ライオネスキャンディ

(2) マルチ

水分の蒸発を防ぐため、マルチ。資材：サンシャット、道具：ホチキス7個。台の横・横・真上の位置に、白を上面にしてマルチを敷き、ロックウールを完全に覆って苗を隙間から出すようにホチキスで留める。マルチの幅は二種類、真上に敷くものが幅狭。端は台のパイプに結び付けておく。

※ホチキスは、イチゴとイチゴの間に2回。隙間が見えず、株が大きくなったときに妨げにならない程度に、各株元から3cmくらい空けたところに打った。隙間からの蒸発をより避けるため、ホチキスは片方のマルチをもう片方でくるむような形で打った。地上席の2列はマルチをすべきか判断しかねたため、行わず。

〈昼食〉 各自コンビニまたはお弁当。女子部は裂き織り、草木染めなど手芸話題で盛り上がる。

♪おやつ♪ずんだスナック、だだちゃチョコサンドクッキー(松本家)、八海山クリームサンド(オズ)

〈午後〉

●ナバナ種蒔き

朝、石田さんが、蜂蜜屋の和久さんからもらったナバナの種。谷っ戸ん田の周囲にぐるりと鍬で軽く溝をつけ、子どもたちが蒔いた後、土をかぶせた。

●トマト定植・誘引 品種：大安吉日 収穫時期：今年中

トマトの苗(101本)をポットから地面に定植。1番目の花が咲いている方向を通路に向けるのがポイント。2番目以降の花も同じ方向に咲く。穴の開いたマルチは既に用意していただいていたので、穴の下の土をほじくって植える。スズランテープと洗濯ばさみを使って誘引を行う。

●ネギ畑草取り・土寄せ

ネギ畑はまるちゃんの背(126.9cm)より高い草がぼうぼうで呆然。しかし土が軟らかいため面白いように抜けた。まるちゃんも自分より背の高い草を抜いた。

鍬と、先端がカマボコ型のおかめ鋤簾(じょれん)を使い、ネギの生長点(分かれている所)に土をかけるように、土寄せ。

●ダイコン種まき 品種：冬しぐれ

墓地下の畑、既にマルチをしてある12列(6マルチ×2列)に、1穴5粒ずつ、指第一関節程度の深さに、ばらけるように蒔いた。この畑は一部とてもぬかるんでいて「田んぼみたい(by園主)」だった。

●にんじん畑草取り

ダイコンを植えたエリアの隣は既ににんじんが植えてあった。にんじんを抜かないように気をつけながら、雑草を取った。

17:00 前に、小屋建設中の園主に挨拶し、終了。脱穀は、直近の雨により稲が濡れていたため行えず、次週へ持ち越し。

<おまけ>

堀の内の畑について。そろそろ枝豆パーティか!?!と先週から期待が高まっていたが、今日の作業後、石田さん・久保さんが見に行ってくださったところ、「痩せてました」との報告が。近隣の農家も同様の状況だそう。

また、ジャガイモを植えるも芽が出なかったエリアについては、高田さんから各種の持ち込みあり。(ダイコン、にんじん等)

(記録：オズ)



## 第26回 『田奈駅近くの田んぼの稗取り』

と き 平成22年10月2日(土) 9:30 - 17:30

ところ 田奈駅近くの田んぼ

天 気 曇りのち晴れ

参加者 園主、霧生、久保、坂本、柴田、高田直子(午後)、田中、福井(午前)、百崎恵美、まる、吉田  
計11名(子ども1名含む)

### ★9時半集合

- グリーンのバンで田奈駅近くの田んぼに移動。途中、百崎親子を恩田駅で拾う。福井さんはバイクで。久保は田奈駅から徒歩で。
- 今日は柴田さんがリーダー、吉田さんがサブリーダーで作業開始!
- 田んぼは手前側のぬかるみがひどく、苗が倒れ、稗が密集。最初手前から稗取りを始める。
- が、30分経っても稗が多すぎて成果がよくわからず、皆の士気が上がらない。
- よって、奥の方からの稗取りに変更。これが功を奏して、皆さん作業に身が入る。
- 面積で言うと田んぼの9割方稗取りを終えて、12:30頃午前の作業終了。

★谷っ戸ん田に戻り、昼食。高田さん参加。

### ★13:30バンにて再度移動

- 直帰の方はバイクで移動。稗取りの続きをする。
- 稗が株でまとまってあれば、刈り取りは楽なのだが、ばらばらに生えているのも多く、その選別に時間が掛かり苦労する。
- でも午前中に奥の方を片づけたおかげで、午後は稗の密集地帯を全員で集中して刈ることが出来た。
- 終了間近、テツさんの大型コンバイン登場。これはあつという間に稲刈り(&脱穀)が出来るという優れものらしい。
- コンバインをテツさんと一緒に順番に操作。
- 他の者は働きぶりを眺めながら、テツさんの差し入れの浜梨をいただきました。
- 大ぶりでジューシー、皮が厚くて剥きやすく、繊維は粗めでしたが、この甘さは作業後の疲れを癒してくれました。ありがとうございました。美味しく頂きました。
- コンバインから、脱穀した米を荷台に乗せた大きい袋に開ける(自働)。本日の作業終了。
- 取れたお米は500kg(推定)。直帰する方は、ここで帰宅しました。
- 谷っ戸ん田に戻り、17:30解散。栗拾いをした栗を山分けする(テツさんに了承済)。
- 今年の栗は大振り立派でした。田奈で帰られた方、渡せなくてごめんなさい。
- 若手リーダー達、御苦労さまでした。スムーズに作業出来ました。ありがとうございました。
- 田奈駅近くの田んぼは、視界が開けていてとっても気持ち良かったです。稗取りを終了した綺麗な田んぼをもう少し眺めていたかったなあ。
- 空は秋の雲で、鳩の群れが移動していました。田んぼの風景に癒された一日でした。

(記録: 百崎 恵美)



## 第27回 『雨の自習モード』

とき 平成22年10月9日(土) 9:30 - 16:00

ところ 谷っ戸ん田小屋、莓ハウス、堀の内畑

天気 雨

参加者 石田、磯、オズ、久保、霧生、佐々木夫妻・優聖、高田直子、松本夫妻、百崎恵美・まる  
計 12名(子供2名含む)

- ・ 土方殺すにや刃物はいらぬ、しとしと雨に見舞われました。
- ・ しょうがないので、二手に分かれやれることをやるということに。
- ・ 脱穀が足踏み状態となっている米が心配ですが、石田さん経由のテツさんコメントでは、そんなに心配ないとのことでした。

### ● 午前 堀の内組(石田、オズ、久保、佐々木夫・優聖、高田直子、松本夫妻)

- ・ 本日の参加者で持ち帰る程度の枝豆を収穫。
- ・ ジャガイモを植え付けなかったエリアに蒔く種を田奈農協へ買出し。
- ・ ジャガイモが育っている部分のみ、鍬を使って土寄せ。
- ・ ジャガイモを植え付けなかったエリアはトラクターをかけ、9種類の種を下記のように蒔いた。

### ○大豆畑

1列目 CR耐病カブ「白露」	2列目 CR耐病カブ「白露」／サラダ京水菜
3列目 サラダ京水菜	4列目 サラダ京水菜・食用ナバナmix(注1)
5列目 サラダ京水菜・食用ナバナmix	6列目 サラダ京水菜・食用ナバナmix
7列目 サラダ京水菜・食用ナバナmix	8列目 のらちゃん菜(注2)
9列目 小松菜	10列目 小松菜
11列目 チンゲン菜	12列目 オータムほうれん草(西洋種)
13列目 日本ほうれん草	14列目 日本ほうれん草／からし菜
15列目 からし菜	

### ○ジャガイモ畑

種まきにクリーンシーダー使用。種の大きさにより、装着するロールを下記のように変えて使った。

1~8列目 小 / 9~11列目 中 / 12~15列目 大

### <石田さん注>

- ・ ロールは大中小ではなく、かなり細かく種類があります。4種類を使いました。
- ・ ただ、途中で時間と空模様とメンドクササでテキトーになりました。
- ・ クリーンシーダーはロールでいろんな大きさの種に対応し、スプロケット(歯車)の調節で株間を調整できます。とりあえず雨のやみ間の短時間でいろいろまくために、活躍してくれました。

### <注1>

水菜とナバナがmixとなっているのは、水菜の種がクリーンシーダに残り少々入っているところに、ナバナの種を足したため。おそらく、4~7列目はほとんどナバナだと思われるが、どこまで混じっているか確信がないので、このように表現した。

### <注2>

気になる「のらちゃん菜」とは食用油菜の一種。トウ立ちする花茎を摘み取り食用にする。茹で上がりは濃い緑色で、甘みがあり肉質軟らかく、おひたし、鍋物、油いためなどに最適。

● 午前 居残り組（佐々木利江、霧生、磯、久保、高田直子、松本洋子）

< 莓の害虫駆除 >

ハウス内で作業。はっぱについている青虫、毛虫を手で駆除。けっこういっぱいついていました。

< ハウス、畑の見回り >

田んぼ横のハウス（トマト、セロリ）の生育状況の確認。日照のせい、か、苗に元気がない。セロリには青虫がついている。手で駆除。ついでに葱を植えた奥の畑も見回りしました。こちらは特に問題ないです。

● ランチ

小屋にてハンモックランチ（きのこの玄米クリームリゾット）。

● 午後

雨が強くなり、作業できず。小屋にて、フリートークの場を持つことに。

参加者：石田、オズ、霧生、久保、佐々木夫妻、高田直子、野地、松本夫妻、百崎恵美・まる



【堀の内畑について】

今年度、堀の内畑についてはな～に谷っ戸ん田が主体となって動く！ということを確認。

【研修旅行など】

野地家のみかんもぎ手伝いは、12～2月に野地さんからお声かけがある。また、忘年会、餅つきもしたい。1泊飲み会つきでみかんもぎ（12月なら忘年会あわせ、2月なら梅まつりあわせ）という案も。

テツさんが発案したムツさんの山は今回は見送ろうということになった。

別の「研修」をということで、な～に谷っ戸ん田の会のなかでの「役割分担」で、昨年に続いて霧生さん、そして百崎（妻）さんが幹事をしてくれることとなった。今後、テツさんと調整。

【「農のある地域づくり協定事業」奨励金の使い方】

基本は種代、肥料代、燃料代、光熱水費などに使う。講師を呼んで講座を行う費用としたり、年に一度はライブを（ちゃんとギャラを払って）開催するというアイデアも出た。

枝豆の根を落とし、葉をむしって持ち帰りやすい状態にして、各自数束ずついただいた。16時頃解散。



（記録：磯 直行、オズ）



## 第28回 『脱穀と籾摺り』

■と き： 平成22年10月16日(土) 9:30~16:40

■ところ： 谷っ戸ん田

■天 気： 晴れ

■参加者： 園主、霧生、久保、坂本、柴田(午前)、高田夫妻、福富(午後)、松尾(午前)  
松本夫妻(純さんは午後から) 計11名

■活 動：

### 【午前】

- ・脱穀機1台と籾摺り機2台、発電機、道具等を田んぼ周辺に運搬。  
(事前に柴田さんが園主と打ち合わせを済ませ、段取ってくれていた。)
- ・稲の周りに張っていた鳥除け用の糸を巻き取り、支柱を回収。
- ・雨天が続き、約1月間掛け干しする結果となった稲の束。それでも内側に湿気が残っていた為か、脱穀機(ビック大島)に何度も藁クズが詰り、とうとう動かなくなってしまった。テツさんが部品を一度解体し、詰まっていたゴミを全て取り除いて何とか復活したが、午前も遅い時間になっていたので、お昼の時点で脱穀が完了したのは全体の半分程度だった。
- ・脱穀機を通してかなり米粒が残っており、ほとんどの稲は二度がげした。
- ・脱穀後の藁は10束程度を一つに麻紐で結束し、田んぼの畔に積み上げていった。
- ・並行して、広場の発電機につないだ籾摺り機(インペラもみすり機)2台で、お米のもみをとっていく作業も進めた。(松尾さん曰く、何だかパチンコをしているような楽しい作業…とのこと)
- ・昼休みに入るところで、園主と柴田さんから以下の3点の注意事項を改めて教えていただいた。  
①脱穀機を通して落ちていない籾には実が入っていないことが多く、時間もかかるので、基本的には一度通すだけにしたほうがよい。②藁束を車両で運搬することになるので、藁の結束は株もとのあたりをきちんと揃え、出来るだけ高さを一律にすること。そして、5束ずつ上下逆に重ねてかさをおさえ、崩れないようきつめに結束すること。③機械を止める時は、つまみを「低」にして空運転してから「オフ」にすること。いきなり「オフ」にすると、次に使う時にエンジンがかかり難くなるため。また、しばらく使用する予定がない場合は、エンジンへの燃料の流れを止めて、残っている燃料を使い切ってから「オフ」にするとよい。

### 【昼食】

各自、お弁当。

高田家の畑でその日の朝に収穫されたナスをお土産に頂いた。

(細長く薄紫のめずらしい種類のもの。美味でした。)

### 【午後】

- ・午前に続き、脱穀と籾摺り作業。
  - ・脱穀を一回にしたことと、秋の日差しに稲束の乾燥が進んで軽くなったせいか、作業のスピードがあがっていった。
  - ・籾摺り後の玄米状態で収穫量は計282Kg。一袋23.5Kgに計量して袋詰めしていった。  
(cf. 昨年の谷っ戸ん田は、赤米を植えずにこしひかりのみだったので一区画28.4Kg。一昨年は今年と同じ植え付け面積で23Kg。)
  - ・機械等を清掃後、欠席の方達分の米袋と一緒に作業小屋等へ運搬して終了。赤米の刈り入れもあるので、ポニーは解体せず。
- ※自然に作業分担がなされ、全体の流れはスムーズに進んだと思います。(ポニーから稲をとって渡す→脱穀機にかける→脱穀できているか確認する→藁の結束・運搬、脱穀した米を運搬する→籾摺り機にかける、全体の流れを見ながら、脱穀機を移動させる等・・・)さすが4年目ですね!
- ※隣の赤米の刈り入れは11月中頃か? また、次回は、本日出来なかった堀の内の田んぼの刈り入れか?? いずれにしても、お天気次第なのが農作業の宿命であることを実感した今年のお米作りでした。

(記録：霧生)



## 第29回 『草取り、草刈り、土寄せと追肥』

- と き： 平成22年10月23日(土) 9:30~16:15
- ところ： 堀の内畑
- 天 気： 晴れ
- 参加者： 石田、磯(午後)、オズ(昼食後2時頃まで)、加藤、霧生(午前)、久保、佐々木利江、高田直子、福井(午前)、瑞季さん(福井姪・午前) 計10名

### ■活 動：

#### 【午前】

- ・刈り払い機2台と鎌を使って堀の内畑の草刈り。
- ・じゃがいも畑はけっこう草が伸びていて、鎌で草を刈る。かぶ・水菜・小松菜・ほうれん草ほかの畑は発芽が見られ、雑草と見分けながら手で草取りする。
- ・雑草とはいえ、おいしそうな草があって、食べられそうだねえなどと言いながらの作業であった。
- ・畑の周囲は刈り払い機で草を刈っていく。福井さん、刈り払い機の実地研修。「楽しいですねえ」と時間をかけて刈った。
- ・休憩時間に瑞季さんがチョコレートを差し入れ。おいしかった。
- ・午前で帰る人のお土産として、黒豆を枝豆用に収穫。佐々木家の畑で収穫されたナスもお土産に頂いた。

#### 【昼食】

- 谷っ戸ん田に戻って、各自、お弁当。
- 石田さんから洋なしの差し入れ。水気があり甘くて美味。

#### 【午後】

- ・トマトやイチゴも気になったが、午前に続き、草刈り・草取り作業。
- ・鎌を使ってジャガイモの土寄せも行なった。
- ・また、追肥としてグリーンが(株)横浜環境保全からもらった生ゴミリサイクルによる堆肥を撒く。が、一袋のみなので、おしるし程度。
- ・午後はじゃがいも畑を中心に作業する。草取りは変化が無くて退屈な作業ではあるけれども、よく観察しているとそれぞれにこだわりのやりかたがあって、なかなかおもしろい。左手で草の根元をさぐりながらいねいに草を取っていく佐々木方式。地面がきれいに見える。鎌を軽く振りながら刈った草をそのまま地面にばらまく石田方式。地面にころがっても汚れない。左手で鎌を振り、がしがしと根切りしていく久保方式、などなど。鎌を使っての土寄せもおこなった。
- ・天気も良く、風もなし。暑くも寒くもなく快適ではあったが、作業終了時には足・腰が悲鳴をあげていた。
- ・お土産に黒豆を収穫する。石田さんが巨大な一株を発見し、久保さんが記念撮影。
- ・堀の内で解散するが、石田・磯・久保さん三人は谷っ戸ん田に戻り、鎌と鎌を洗って片付け、さらに石田さんはグリーンに戻って刈り払い機などを片付け。

※黒豆は早速ビールのつまみになりました。甘くて味わい深く、満足満足。奮闘してくれた柴田さん・吉田さん・石田さんの勇姿を思い浮かべ、三人に感謝しつつ、ビールを飲み、静かに秋の夜が更けていきました。

(記録：加藤 彰)



## 第30回 『赤米の稲刈り』

- と き： 平成22年11月6日(土) 9:30~16:15
- ところ： 谷っ戸ん田のたんぼ
- 天 気： 晴れ
- 参加者： 石田、霧生(午前)、久保、佐々木家族、佐々木母子、松本妻、百崎母子、吉田(午後) ゲスト美紗ちゃんのお友達の大塚さんとその子供達、ハンモックカフェ野地さん、11名、子供5名

### ■ 活 動

#### 【午前】

- ・ 赤米の鳥除け糸と支柱をはずし、ベニロマンは稲刈り機の可動を助けるために4隅の稲を手で刈る。カンニホは、水路の方が風雨のため稲が倒れている。稲穂も長いので手刈り。カンニホの稲を刈る人、束ねる人と別れて作業を進める。途中から紅ロマンの稲刈り機が作動し始める。が、思っていたよりも田んぼがぬかっかいて、機械が田んぼにはまり動かなくなることもあり。午前中で何とかカンニホの手刈りを終える。
- ・ 子供達も手伝うが遊びの方がいいみたい…当たり前か！

#### 【昼食】

- ・ ハンモックランチ ぎんなんの玄米どんぶり

#### 【午後】

- ・ 楽勝とも思われた赤米の稲刈りだったが、ベニロマンの稲刈り機が思うように作動しない。
- ・ 男二人ではまった機械を動かすのだが、どうにも効率が悪い。そうこうしているうちに機械をあきらめ手刈りとなる。
- ・ テツさんからは、隣を刈るのではなく、一つおきにやればはまることもなかろうかと、アドバイス頂いたが、時すでに遅し！
- ・ 稲はネコに乗せたり、てんでに肩に乗せたりして運び、はざかけをした。機械を洗浄しに行く人あり。最後に鳥除けの糸を張る。
- ・ ベニロマンは、2段掛けのポール7本弱 カンニホは、1段掛けのポール5本。

感想：今回は、女衆の活躍が大であった。いつもなら、おしゃべりして見ている作業もしっかりやった。分担の作業は、わりかしうまくいっていたようだ。菜の花を播いた畦は所々発芽していたが、稲を運ぶ時にぬかった田んぼを歩くより畦を歩いた方が楽で、かなり踏んでしまった。2日目に内転筋の筋肉痛あり。差し入れに蕎麦のぼーろ(美紗ちゃん) キャベツ(佐々木)があった。

帰る人 見送りもせず 稲を刈る  
何回も 稲を束ねる 指にたこ

(記録：チャリママ)





### 第31回 『赤米の脱穀』

■とき：平成22年11月13日(土) 10:00~17:00

■ところ：谷っ戸ん田のたんぼ・堀の内大豆畑

■天気：曇りときどき晴れ

■参加者：石田、加藤、坂本、佐々木母子、田中、松本夫妻、吉田 大人8名、子供1名(計9名)

■活動：【午前】10:00開始

- ・石田さんの秘密兵器「稲の乾燥測定機」で乾燥が無事15%台であることを確認(15-16%が理想らしい)。
- ・鳥避けの糸を巻き取り、支柱を回収。
- ・脱穀機「ビック大島」1台を田んぼに運び、エンジンをかけるもガス欠。急遽、石田さんがガソリンを調達に行く。ガソリン到着！優君が「ちゃんといられるの？」という心配が的中。タンクの中に入っていた網がじゃまをし、溢れる…。ガソリンが乾くまで5分の小休憩。
- ・10:30頃 無事、脱穀機が稼働し作業開始。

石田さん、松本さん(夫)、吉田さん=脱穀担当

加藤先生、坂本さん、松本さん(妻)=藁から脱穀できていない稲を手で選別し、藁を10束づつ麻紐でまとめ、田んぼの畔に積み上げ

佐々木さん(母)=脱穀できていない稲を手で脱穀

田中・優くん=70cmくらいの長さに麻紐をつくる。その後みなさんのお手伝い。

・休憩では松本さんからjerry(彩果の宝石のような)と、優くんからアンパンマンキャンディをいただく。

・順調に作業は進み、作業終了！

ベニロマン【ヤンマーの袋 5個(計おそらく40kg強)】

カンニホ(神丹穂)【三菱の袋 2個 計20kg弱】

【お昼】12:40 各自でお弁当。

・坂本さんから種なし柿(甘くておいしかったです☆)、田中は奈良のお土産(奈良漬)を差し入れ。

【午後】13:50 堀の内大豆畑へ移動

- ・大豊作の大豆畑。ひたすら大豆を引っこ抜き、6・7束にして麻紐で束ねる。紐はポールに掛けやすいようあまりきつく縛らない。
- ・14:40 男性陣が谷っ戸ん田からポニーとポールを運んでくる。
- ・束ねた大豆を掛けていく※鳥に食べられないように上段から掛けていく。16:20すべての作業終了！
- ・希望者は大豆になりかけの枝豆をお持ち帰り☆

<入口から畑に向かって左手(長い列)>5ポール上段のみ(黒豆)・2ポール(白豆)※ポールに麻紐で目印あり・3ポール(黒豆)

<入口から畑に向かって右手(短い列)>2ポールすべて白豆

・谷っ戸ん田に戻って道具の片付け&赤米を上的小屋へ移動。17:00解散。

感想

赤米脱穀から大豆畑の全収穫と、少人数でがんばりました^^

優くんも、大豆畑では大人が作業に集中してあまりかまってあげられず、「帰ろ～帰ろ～」とぐずってましたが、最後まで我慢して偉かったです☆

今日の心残りはよく漬かった奈良漬を久保さんに食べていただけなかったこと・・・

石田さん・松本さん・吉田さんが最後まで残りの片付けありがとうございました！

(記録：田中 萌)



## 第32回 『赤米の粃擦り』

とき 平成22年11月20日(土) 9:30 - 16:30

ところ 谷っ戸ん田のたんぼ

天気 晴れ

参加者 吉田、佐々木(妻・優聖)、高田(妻)、久保、磯、福井[午前]、霧生[午前] 計8名

### ■ 午前

谷っ戸ん田たんぼとなりの作業場で赤米の粃擦りを行うため、粃擦り機、発電機、脱穀した赤米、作業用具(箕、フネ、米袋など)を作業場に持ち込む。

粃擦り機は直売所裏のハウスから、発電機は納屋から、赤米は小屋下のハウスから移動。移動には園主の軽トラを借用いたしました。ドライバーは吉田さん。

準備作業でミスを連発いたしました。

- 移動した赤米が間違っていました。(粃擦り済の袋を持って来てしまうミス。15分のロス)
- 粃擦り機の組み立て方(3枚あるネットの組込み方)がわかりませんでした。
- 発電機につないでも粃擦り機が起動しませんでした。

自力解決できず、園主にヘルプ。

- ネットの組込み方法をご指導いただきました。(次回のために久保さんが写真に納めています)
- 発電機は出力不足でした。黄色い小型の方は出力が不足、粃擦りには使えません。赤い中型の機械でないとダメのようです。

そんなこんなで、午前中は粃擦り準備だけで終了。

### ■ お昼

霧生さん、福井さんが離脱。松尾さんから午後NG連絡。人がいないです...

各自、テキトーに昼食。高田さんから、フランスみやげのチョコレートの差し入れ。ご馳走さまでした。小屋横の柿がおいしそうだったので、勝手にご馳走になりました。おいしかったです。

### ■ 午後 気をとりなおして、粃擦り作業開始。

- 粃擦り機は、水平に置かないとダメです。ネットに米が均一に落ちないとうまく選り分けできません。
- 赤米はヒゲが長いので、普通の米に較べ詰まり易いようです。とはいえ、投入口を広げると擦れ不良が発生。粃投入の制御が難しい。今回は少量だったこともあり手を使ってだましだましやりました。

粃擦り前の赤米は、カンニホが軽め2袋、ベニロマンが軽め6袋(?)。粃擦り後は、カンニホ1袋、ベニロマン軽め4袋になりました。この量を脱穀するのに要した時間は実質2時間程度でした。

使用した機器、用具、脱穀後の赤米の入った袋を片付けて本日の作業を終了。赤米は、小屋下のハウス(育苗ハウス)に片付けました。カンニホは「コンバインハーベスタ」の袋、ベニロマンは「ヤンマー」の袋。故障原因となることを懸念し、粃擦り機は洗浄せずに元の場所に返却しました。

作業終了を園主に報告し、16:30頃解散。しかし、ここで大問題発生です。

園主から「種粃は取っておいたんだよね?」と切り出され、報告者(吉田さん、磯)は絶句。

### **赤米の種粃まで擦ってしまいました!**

園主からは、しょうがない来年は赤米できないね、と悲しいことを言われ、アテもないのに種粃なんとかしますとかほざいてしまったわけですが、どうするか次回相談です....

PS. 吉田さんとロープワークの勉強をすることにしました。

(記録:磯 直行)



### 第33回 『草（笹）刈り、他』

と き 2010年11月27日（土）9:30 - 15:00  
ところ 谷っ戸ん田のたんぼ脇の雑木林、上の作業小屋周辺  
天 気 晴れ  
参加者 石田、磯、霧生、加藤、久保、坂本（午前）、佐々木利江&優聖、高橋、福井&瑞希（午前）、ハンモックカフェ野地（計10名+子2名）

#### ■ 午前

- ・谷っ戸ん田脇の雑木林で草（笹）刈り。草刈機2台、自走式草刈機1台（共立ハンマーナイフモア）、手鎌4本使用。また、落ち葉をかきやすくするため枝などを拾い集める。
- ・赤米の袋詰め。  
→カンニホ：2kg弱×（12袋+1袋（園主））。ベニロマン：6.1kg×（12袋+2袋）+1.7kg
- ・午前休憩時に土産や差し入れが出揃う  
→洋ナシ（石田）、長野みすず飴（加藤）、タイ菓子（高橋）、お菓子（優聖、瑞季ちゃん）

#### ■ お昼

ハンモックランチ：さつまいもととり肉のクリームカレーと玄米ご飯  
食後はハンモック休憩やトランプ（うすのろまぬけ、神経衰弱、七並べ）



#### ■ 午後

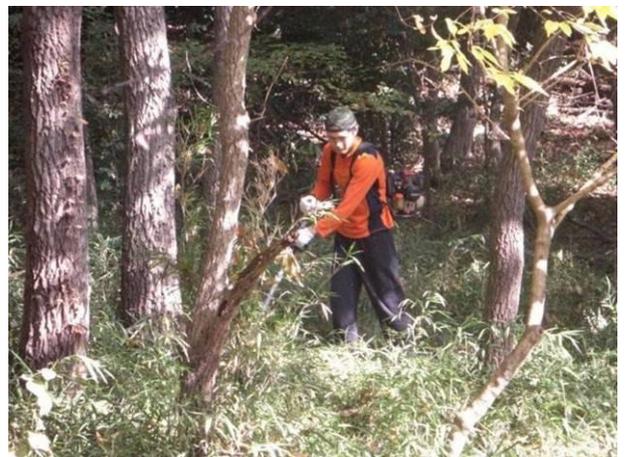
- ・谷っ戸ん田脇の雑木林で草（笹）刈り。草刈機2台、手鎌1本使用  
→草刈の終わった斜面と尾根部分には、落ち葉がはらはらと舞い落ち、落ち葉かきを待ち望んでいるかのようです。
- ・赤米の袋詰め、続き。名前を記して、上の作業小屋に保管してあります。
- ・ハーベスタの清掃。  
→ハーベスタを分解、清掃、組み立て。電動ブロアーを使用。リコイルスターターの紐が劣化していて切ってしまった。



※本日使用の機械類はすべてグリーン所有のもの。あらためてグリーンに感謝、謝々。小屋横の柿をいただき、15時解散。

（記録：Hi-lucky 高橋）





### 第34回 『じゃがいも収穫、大豆脱穀、他』

と き：平成22年12月 4日(土) 9:30~17:00

ところ：堀の内の畑

天 気：晴れ

参加者：石田、オズ、加藤、久保、坂本、高橋、高田（裕司）、藤田「午前」、福井（・瑞季）「午前」、松本（夫婦）「午前」、吉田 計13名(子供1名含む)

#### ■午前

・谷っ戸ん田の広場で朝礼中に、加藤先生より堀の内の大豆掛け干しポニーが前日の強風により全て倒壊しているとの一報が入り、全員で堀の内に急行。まずポニーの部材を片付け、大豆の束を地面に立てて暫し乾燥させる作業を行う。

・その後、同敷地内のじゃがいもの収穫作業を行う。(この間に石田リーダーと福井さんが大豆脱穀機(クボタ：ビーンスレッシャ・アンダーブローMD40)をグリーンへ取りに行く。

・じゃがいも収穫作業を終え、脱穀機の到着までの間、昨年地下に貯蔵したままの里芋を掘り返そう(久保さん提案)と奮い立ちスコップを振るうも、収穫出来たものは、芋が茎にした、長い芋?が殆ど。

・脱穀機到着後はひたすら大豆脱穀に専念。(黒豆から始める)

【差入れ】お菓子(瑞季ちゃん)、吉田さん(群馬土産の Gateau Rusk)

#### ■お昼→各自用意

・大豆の脱穀作業に時間がかかることから谷っ戸ん田には移動せず、堀の内の畑で昼食。

オズさんのスペイン話を中心に歓談。

オズさんからスペイン土産(ひまわりの種のはちみつ揚げ)

#### ■午後

・引き続き、大豆の脱穀

大豆を結わえたひもをのこぎり鎌で切る。根元を折る(機械に通した際にひっかからないようにするため)。機械に入れる(根元側から)の繰り返し。

ビーンスレッシャーがときどき止まった。大豆の茎が回転部分に絡まっていた。大豆が倒れたため、濡れていたことも影響していた模様

脱穀終了後、殻に大豆が残っていないかチェック。そしてブルーシートに落ちている豆類とともに再度脱穀

・終了後、石田、オズ、久保、高田、高橋、吉田、にて機械・道具を片づけ、てつさん小屋のビニールハウスに収穫物を入れる。(大豆は網に入れて、広げておく)

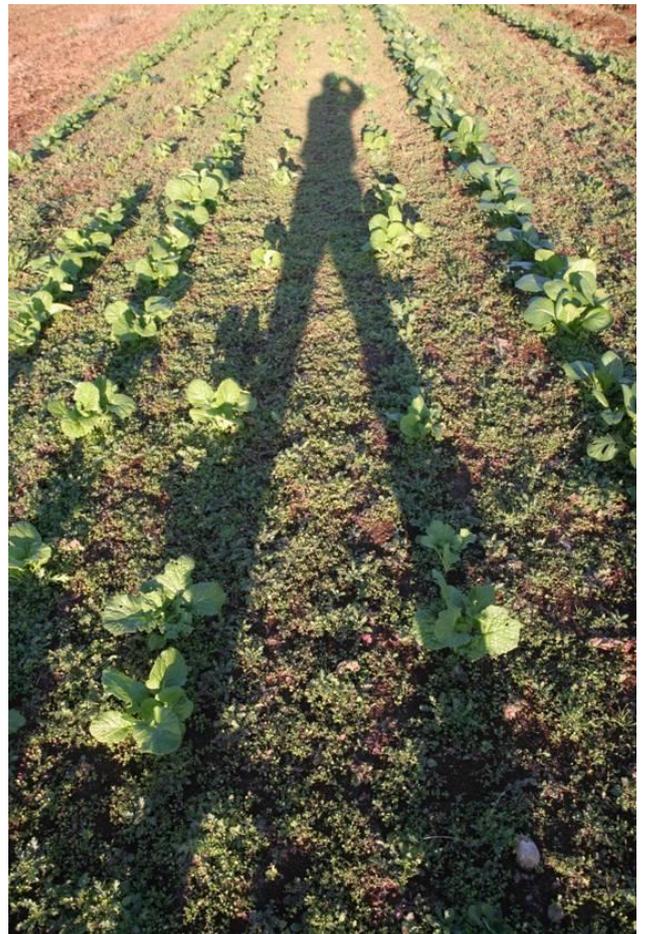
#### ■使用したもの

機械：大豆脱穀機(クボタ：ビーンスレッシャ・アンダーブローMD40)

その他：スコップ、のこぎり鎌、み、袋、網、ビニールシートなど

■本日の収穫 じゃがいも 40 kg、大豆 50 kg、さといも 10 kg (以上推測値)

(記録：松本 純、高田 裕司)



### 第35回 『畑の後始末、大豆選別他』

- と き：平成22年12月11日(土) 9:30~15:00
- ところ：堀の内の畑・谷っ戸ん田上のビニールハウス
- 天 気：晴れ
- 参加者：石田(午前)、オズ、加藤、久保、霧生、佐々木(利) 計6名

#### ■内 容：

##### 【午前：堀の内の畑】

- ・道具を乗せたグリーン車両他で堀の内へ移動。前回脱穀を終えて畑に散乱していた大豆の枝葉や殻等を、熊手などを使い畑の隅に片付ける。風が強く難航したが、後日、隣の畑の方が燃やして肥料にして下さるとのこと。
- ・その後、夏場に小ぶりの葉が沢山出ていた里芋貯蔵穴を掘り返す。一見、細目の京芋にも見える茎化した里芋を、誰が一番先に食べてみるのか、里芋としての自覚が不足しているのではないか・・・等、低い声で冗談を言いながら収穫する。  
(→谷っ戸ん田上のビニールハウスで保管)
- ・10月初旬に種を播いて旬を迎えつつある葉物エリア。小さな雑草が一面に生えているが、野菜は順調に成長している。脇芽を増やすために、ナバナの花芽を収穫。併せて、食べ頃を迎えた小松菜、チンゲン菜、カブ等の収穫作業にモチベーションが上がる。
- ・上記作業と並行し、葉物のエリアを除く畑全面を石田さんがグリーンでトラクターで均していった。この畑は、来年には持ち主の方にお返しするそうだ。

##### 【昼食】

- ・風が強い為、テツさんの作業小屋にて各自昼食。

##### 【午後：谷っ戸ん田上のビニールハウス】

- ・午前中にお借りしていたスコップ等を片付け、前回収穫したじゃがいもを計量して12袋に分ける。(1袋約2.6Kg) 今年の暑い夏をのりきったつわもの男爵だ。  
(→赤米と一緒に、テツさんの作業小屋に保管：名前入りです)
- ・味を均等にする為のかき混ぜ作業などをするには人手が足りなさそうなので、味噌の分配は断念。昨年作った味噌は量が多いこともあり、段取りが大切そうだ。
- ・今年度第1回目の大豆の選別作業開始。白大豆の袋をフネにあけて、枝やサヤを取り除き、味噌作りに使えるものと、虫食いなどで傷んだものを分別する。
- ・徐々に口数も減り、寒くなってきたところで作業を終了。テツさんにご挨拶をして、15時頃には解散。ハウス側の柿の実をいくつかと佐々木農園産のブロッコリーも頂戴し、帰路についた。

#### ■その他

同日、5名(磯、坂本、高橋、松本夫妻)が小田原の野地農園にみかんもぎの手伝いの為に出張。約1トンのみかんをもぎ、こちらのチームも十分に楽しんだ様子。



(記録：霧生)



### 第36回 『味噌分配、大豆脱穀』

とき 平成22年12月18日(土) 9:30 - 15:00

ところ 小屋前、小屋下のハウス

天気 晴

参加者 石田、磯(午前)、オズ、坂本、佐々木夫妻・優聖、高橋、松本夫妻 計10名(子供1名含む)

※味噌分配を女性陣、てつさんの大豆脱穀を男性陣が行った。

#### ● 午前

【味噌分配】(小屋前)

- ・味噌 20L×6樽。種類は1糀麴 2糀 3麴 4黒大豆 5黒白ハーフ 6名称記載なし。
- ・これを12区画に分配。1区画あたり1.6kg×6種類とした。
- ・残った分は野地さんと、味噌をつくる道具を貸して下さった方へ。
- ・一部、来週の餅つきイベント用に小屋に残した。

#### ● 道具

- ・はかり、しゃもじ2本、ボウル(以上グリーンより)
- ・ジップロック大サイズ90枚、ビニル手袋(以上松本さんが購入、会費より支出)
- ・30L程度の樽、消毒用焼酎、キッチンペーパー

#### ● 作業

- ・ジップロック袋72枚に区画と味噌の名称を記入。使う道具を洗浄、焼酎で拭いて心持ち消毒。
- ・味噌の上に敷いていた塩を取り外し、一袋にまとめた(捨てるか、漬物に使用?てつさんいわく、もっ大量の味噌を作る場合は、味噌に混ぜ込んでしまうそう)。
- ・味噌表面付近に黒っぽいカビが発生している場合は除去した。白いカビは問題なし(by石田さん)。
- ・味噌樽から30L樽に中身を移し、ビニル手袋をはめた両手で攪拌(上の方と下の方で味が違っているのを均一にするため)。
- ・はかりにボウルを乗せた中で、ジップロックの袋に1.6kgずつ入れた。入ったら空気を抜いて袋を閉めた。午前中に、2種類終了。

<午前のおやつ>松本さんから八つ橋ランチ、ゆうくんからラムネ。

【大豆脱穀】(ハウス内)

ハウスに保管乾燥していた2種類の大豆を脱穀、既に落ちていたものを別にしたので、都合3種類に分けた。脱穀機のスターターがなかったが、畳紐を代用してエンジンを始動した。

#### ● ランチ

ハンモックランチ。(メニュー:ぶりと大根の味噌煮しょうが玄米ご飯 カフェメニュー:ベトナムコーヒ アップルティー マフィン各種) 野地さんの友人2名が遊びに来た。

<お昼のおやつ>石田さんよりグリーンのお歳暮用非売品いもケーキ。

#### ● 午後

【味噌分配】

午前中はしゃもじを使っていたが、手袋で直接入れていくと格段にスピードが早くなった。

残り4種類終了。樽に残った味噌を手袋で最後までかき集める。もったいない!そしてなめる。まだ塩がとがっている(?)と感じられるものもある。朝会った谷っ戸ん田の隣のおじさんいわく、1年くらい冷蔵庫で寝かしておくのと良いとのこと。

【大豆脱穀】黒豆を手で脱穀。今年の役目を終えた脱穀機をグリーンにお返し(石田リーダー)。

【里芋分配】前回掘って保管していた長い里芋、試食の結果が良好だったので12区画に分配。

<午後のおやつ>野地農園のミカンを松本さんが持ってきてくれた。それを焚き火で焼きミカン。

てつさんが柿を取ってくれたので、丸かじりでいただいた。

長い里芋と味噌をお土産に15時頃作業終了。

(記録:オズ、高橋)



2010.12.25 餅つき&忘年会



### 第37回 『落ち葉かき、大豆の選別』

日時 平成23年1月8日(土) 9:30~15:00頃  
場所 谷っ戸ん田上の雑木林、イチゴハウス上のハウス  
天気 快晴  
参加者 石田、OZU、久保、佐々木夫妻+優聖、高田(直)  
午前組 福井+みずき、藤田、松本(純)、吉田 午後組 高橋  
合計11名+子2名

午前 ウサギ年最初の作業 雑木林の落ち葉かき

(熊手7本、手み(グリーン)、刈払機(グリーン)、フレコンバック2、シート2枚)

道路を挟んで上と下の二手に分かれる。熊手で落ち葉を集め、フレコンバックに詰め、堆肥置き場まで運ぶ。途中からフレコンバックをシートに変え、作業効率UP!

堆肥置き場はみるみる落ち葉の山となり、頂上からジャンプしたりダイビングしたり、しばし落ち葉とたわむれる。優くんは体がすっぽり埋まり落ち葉でおぼれ、松本さんの帽子が行方不明に。これぞ「落ち葉地獄」。

久保さんは林の中で白い卵(多分ニワトリ)を見つける。

石田さんは刈払機で下草刈り。その後、松本さんと堀之内へ野菜の収穫へ。  
菜の花とカブをみんなで山分けにする。

昼 各自コンビニで調達 今日もハンモックが恋しい~

午後 高橋さんのために残しておいた落ち葉を運び、道具の後片づけをして本日の落ち葉かき終了。引き続き大豆の選別。イチゴハウス上のハウスへ。

ふるいを使いつつ、手作業で味噌に向かない大豆(虫食い等)をはじく。

本日の成果: 30L 味噌たる1杯

\*みずきちゃんからお菓子、佐々木さんから干し柿とアメの差し入れあり。

\*てつさんに帰り際ちょこっと会えた。とても急いでいるようで挨拶もそこそこに。

(記録: 高田 直子)





### 第38回 『落ち葉かき、竹林の整理、他』

■と き： 平成23年1月15日(土) 9:30~16:15

■ところ： 谷っ戸ん田上の雑木林・堀の内畑・竹林

■天 気： 曇り

■参加者： 石田、オズ、加藤、佐々木母、高橋、藤田（午後）、松本純、吉田（午前）、オズゲストの関口さん・松下さん、「草莽の会」の人々11名（午後） 計21名

■活 動：

【午前】

- ・ 先週集めた落ち葉の一部を田んぼに移す。堆肥を落ち葉の上にかぶせる作業も行う。
- ・ 先週と同様に落ち葉かき。シートに落ち葉を集め、みんなでそれを堆肥の山に運び、堆肥と混ぜあわせる。
- ・ 午前で帰る人もいたので、堀の内畑のかぶ・菜花・小松菜の収穫を松本・加藤が担当。
- ・ 堀の内畑の収穫後、松本・加藤は石田さんと合流し、てつさんの甥御さんのお悔やみに。

【昼食】

谷っ戸ん田に戻って、各自、お弁当。

【午後】

- ・ 堆肥の脇に置かれた剪定後の木や枝を田んぼで燃やす。銀杏の枝が燃えにくく、苦勞したが、オズゲストのお二人の活躍もあって、ようやく勢いが出てくる。松本・佐々木・加藤は火の番をしながら燃やし続ける。
- ・ 枝を運んでいるとき、先週行方不明だった帽子が出現。持ち主の松本さんは大感激の様子だった。（車のキーも帽子も出てくるんですね。これも松本さんのお人柄かも）
- ・ 「草莽の会」の人々11名が到着し、周辺の案内後、竹林の整理に。昨年間伐したエリアが荒れてきているため、石田さんが刈り払い機で草を刈り、「草莽の会」のメンバーがそれを熊手などで斜面の数カ所に集める。
- ・ 高橋・オズ・オズゲストが合流後は以前切り倒してあった竹の斜面おろしを行う。チップーにかけられそうな腐った竹、細い先端部・枝をおろす。堅い竹は斜面の数カ所に引き続き積み、腐るのを待つことにする。
- ・ 最後には高橋さんを先頭に「草莽の会」メンバーが一列になり、竹を斜面に降ろすリレーシステムが完成。美しい一列だった。また、積んだ竹の間に生えてきた笹は鎌で切り、枝が残って積みにくい竹は松下さんが持参ののこぎりで枝を落とした。
- ・ 曇り空で寒い一日だった。午前は参加者も多くなか、何となくどんよりしていたが、午後は若いメンバーが集まり、作業がおおいにはかどった。
- ・ その後、シャベルを洗って片付け、さらに石田さんはグリーンに戻って刈り払い機などを片付け。

（記録：加藤 彰）



### 第39回 『堀之内の畑の整理』

日時 平成23年1月22日(土) 9:30~12:00頃

場所 堀之内の畑

天気 快晴

参加者 石田、霧生、佐々木(チャリママ)+優聖、高橋、松本夫婦 計7名

午前 グリーン、霧生、松本の車に分乗して堀之内の畑へ

堀之内の畑は今月中に地主へ返却しなければならないので、残っている作物の整理を行う。残っていた作物は、かぶ・菜花・小松菜・ほうれん草・からし菜・みず菜青梗菜だったが、みず菜と青梗菜は野菜になりきれしておらず、抜いて放置せざるを得なかった。かぶ・小松菜・からし菜は収穫し、皆で山分けしたが、それでも余ってしまい、グリーンにお引き受け願った。(菜花・ほうれん草はお印程度の収量であった)一応すべての作物を抜き去り、当日の作業を終了。霧生、高橋は所用のため

そのまま帰宅。チャリママ親子と松本夫婦は谷っ戸ん田に戻ってコンビニで調達した昼食を摂り、午後のグリーン講演会に備える。

\*佐々木優聖君からアメといか燻の差し入れあり。

番外編 グリーン講演会

14:30から徳恩寺にてグリーン講演会が行われ、谷っ戸ん田からチャリママ親子と松本夫婦が参加。日頃のグリーン活動や川和ハイツでの利用者さんたちの生活ぶり、職員さんの奮闘ぶりがよく分かる活動報告の後、カラオケ大会が始まると、早くも利用者さんたちのボルテージがアップ。その後のアフリカ太鼓の演奏とダンスに至るや、自然と前へ出て踊りだす利用者さんたちに感心してしまった。

(司会の加藤先生も言われた通りアルコールも入らないうちに、あれだけ盛り上がるのはすばらしい!)この時のために参加した優聖君は、裸足になって舞台にまで上がり、ダンス指導の方々と踊りあっていた。その後のグリーンの食材料理での会食では、グリーン調理班の方々が作った豚汁と大豆ひじきご飯に舌鼓を打ち、徳恩寺さんから提供されたオードブルや飲み物でとても豪華なパーティーの雰囲気も味わえた、楽しい催しでした。スタッフの皆様お疲れ様でした。(柴田さんにも久々にお会い出来て・・・元気そうで良かった!)



(記録: 松本 純)



## 第40回 『堀の内畑整備耕運、大豆選別、大根漬けと大根干し』

と き 2011年1月29日(土) 9:30~16:00  
ところ 堀の内畑、上のハウス(作業小屋の手前)、作業小屋の前  
天 気 晴れ  
参加者 石田、磯、オズ、加藤(午後)、久保、坂本、高田裕司、高橋、松尾(午前)、松本純&洋子(午前)、吉田(午前) (計12名)

午前 1. 堀の内畑整備耕運…グリーン軽トラ&松本車にて5名が従事畑を返却するにあたり整備耕運する。先週抜いておいた葉物エリアの葉物を片付け、(これはテツさんの堆肥に入れた)グリーンの特ラクターを交替で運転して耕す。昨年度の里芋の貯蔵穴の凸凹を整え、ついでに里芋を少しいただく。今年度、堀の内では大豆と葉物とジャガイモを栽培した。

2. 大豆脱穀と選別…上のハウスにて6名、後に7名が従事  
和久さんの大豆の殻を剥いて選別。約5kg弱を黄色のポリ桶に保管。

3. 大根の収穫と洗い…大豆組が担当、後に全員参加  
小屋横の畑で、大根、5畝10行のうち2畝4行を収穫、軽トラで小屋の前に運ぶ。  
風呂桶に水を張り素手にて大根を洗う。

昼 13時より。コンビニランチなどめいめいで摂る。

午後 1. 大豆を選別  
谷っ戸ん田の大豆を選別、1袋の4分の3終了。黒豆1袋と大豆4分の1未処理。  
選別した大豆を石田リーダーがグリーンに運ぶ(来週の味噌加工用に煮る予定)

2. 大根を漬ける  
平均500gを約100本、計50kgの大根を大小2つのプラ桶に漬ける。プラ桶にビニール袋を内包して大根を隙間なく並べ1段ごとに塩を振る。塩を約3.5kg使用、大根に対して7%の割合。5kg入りの塩4袋購入。重石を大桶に約100kg、小桶に約60kg載せて奥の小屋に保管。

3. 大根を干す…小屋の前の奥側  
縦干し44本、横干し82本をかけぼし用ポニーに吊るす。(アルミパイプ2列2段)  
縦干しとは、左右2本計4本の大根の葉部を結わえてアルミパイプに鞍掛けする方式。横干しとは、2重の輪で大根中央部を縛って吊るすモバイル方式、主に6本並べた。約10日間寒中にさらすことで旨みが増し、さらに美味しい漬物となるはず。  
大根12本プラス小さな数十本を皆で分けた。



(記録: Hi-lucky 高橋)



## 第41回 『味噌の仕込み、大豆の選別』

と き 2011年2月5日(土) 9:30~16:00  
ところ 作業小屋、イチゴハウスの上のハウス  
天 気 晴れ時々曇り  
参加者 石田、磯(午前)、オズ(午前)、加藤、坂本、高田(直)、高橋、松本(洋)、福井+みずき(午前)、佐々木夫妻+優 (大人11名、子2名、計13名)

### 午前 ●味噌の仕込み

- 1、大豆を煮る鉄釜を洗うが、錆びがひどく作業小屋のアルミ釜を借りた。
- 2、使用する物品を取りにグリーンに行く。今日のためにグリーンで8kgの大豆を煮て準備して下さった。今日煮る予定の大豆の重量が8kgでないことが判明。すでに水に浸した豆である。さて、どうしようということになった。結果、全てを釜で煮て、すでに煮てある鍋の大豆の量を分量で8kgとした。
- 3、洋子さんと直子さんが塩の買出しに行った。
- 4、10時30分ミンチの機械を組み立て始めた。
- 5、麦麴8kgとあらしお3.3kgを20kgの樽に分け焼酎で消毒した手でよくすり混ぜる。ミンチの機械で大豆をつぶしその樽にいれ更に混ぜる。みずきちゃんと優が楽しそうに混ぜる。
- 6、麦麴の味噌を20kgの樽に仕込む。味噌玉を作り日頃の鬱憤をはらすべく皆で投げつける。味噌が飛び跳ねるくらい力強く投げる。上まできたらきれいに平らにし空気が入らないように45度のポリ袋をかぶせ塩を厚さ数センチ位のふたのように伸ばした。
- 7、米麴ミックスのために約10kg残し、午前の作業を終える。
- 8、子供達のおやつ時間もないうらい現場がちよいとピリピリしていてかわいそうだったかな。「おながすいた！」の声でお昼になる。

昼 12時30分より。コンビニランチなど(大根漬けの味見。まだ浅漬け)

### 午後 ●味噌の仕込みと大豆の選別

- 1、午前中、火の番だった方々が味噌仕込みを交代する。
  - 2、午前中と同じ作業を米麴8kgと塩3.3kg、大豆約8kgを混ぜ合わせ20kg樽一つ仕込み、最後に残りの麦麴と米麴を混ぜ合わせて20kg樽一つを仕込む。
- 計、20kg樽の一つずつ、3種類を仕込んだ。
- 3、3時に仕込み終了。後片付けをし、3時30分にはグリーンに行き洗い組みと火消し番と分かれた。4時には火消しを完了し解散とした。
  - 4、選別組は、黒豆1袋のみを残し、大豆1袋は終了とのこと。
- 差し入れ みずきちゃん、干し梅干 優、餅チョコ、サツマイモ、落花生 松本、和菓子

(記録: チャリママ・佐々木)





## 第42回 『雑木林の落ち葉かき／味噌の仕込み／大根漬け』

- と き 2011年2月12日(土) 9:30~15:30
- ところ 谷っ戸ん田雑木林、グリーン、テツさんの作業小屋
- 天 気 曇り時々雪
- 参加者 石田(午後途中まで)、オズ、霧生、久保、坂本(午前)、高橋、松本夫妻、佐々木(ママ、智、美:午後)、藤田(午前)、吉田(午前) (計13名)
- 内 容

### 【午前】

#### ●尾根の周辺の落ち葉かき

- ・前日の雪で、田んぼのあたりは白く雪化粧。途中、チラチラ降ってくる雪の中、雑木林の尾根周辺を中心に熊手を使って落ち葉を集め、堆肥山に運ぶ。
- ・雑木林にはあまり雪は残っていなかったが、落ち葉はたっぷりと水分を含んでいた。堆肥にするのはベストコンディションとのことだが、落ち葉は重く、体力を使う作業となった。

#### ●味噌の仕込み

- ・途中、「いなげや」で塩を購入してグリーンの作業室へ移動。
- ・ミンチの機械、大なべ等仕込みに必要なものをお借りして、先週に続き白大豆の味噌を仕込んだ。
- ・糶8Kgにあらじお約3.3Kgを混ぜ込み、ミンチにした煮豆約8Kg分をさらによく混ぜる。(塩の量は後から若干調整した)
- ・味噌球を30リットルの樽1つにつめ、ビニールと塩でふたをして完成。

### 【昼食】

- ・テツさんの作業小屋で、各自弁当など。

### 【午後】

#### ●沢庵の漬け込み

- ・2週間前にポニーに干しておいた大根と、塩漬けにしておいた大根を、A-Coop製「たくあんの素(糠漬け用)」等で漬け込んだ。
- ・塩漬け大根：樽は大小2つで約50Kg分。あがっていた塩水を捨て、大樽一つにまとめた。説明書をもとに塩を約900g、糠2Kg、砂糖625g、たくあんの素を投入して漬け直し。着色料は使用しなかった。
- ・干し大根：水分が抜けて軽くなった大根を、子ども達を中心にポニーから運ぶ。葉の部分はカットし、小樽2つに漬け込んだ。
  - 樽①は、干し大根約15Kgに塩550g、糠960g、砂糖300g、たくあんの素で漬け込み。
  - 樽②には素は入れず、目印に黄色の着色料200gを入れた。

#### \*感想

- ・午前中に降ってきた雪もやみ、午後から子ども達がきて賑やかになった。(期待していた程雪が積もっておらず、雪遊びができなかったことは残念そうだったが・・・)
- ・干していた大根は全て漬け込むことができ、とりあえず一安心。たくあんの素がなくなり、一樽は糠+塩、砂糖のみでチャレンジしてみた。美味しく出来ることを期待!!

(記録：霧生)



### 第43回 『落ち葉かき、黒豆の選別』

と き 2011年2月19日(土) 9:30 - 16:30  
と ころ 谷っ戸ん田雑木林、作業小屋  
天 気 曇り  
参加者 石田、磯(午後)、久保、坂本(午前)、高田裕司・直子(午後)、高橋(10時15分着) (計7名)

午前 雑木林の落ち葉かきと草刈り

…刈り払い機(グリーン)の2台 熊手(5丁) メッシュシート

斜面及び尾根筋を中心に落ち葉かきをする。土着菌の「ハンペン」を大切に採取し混ぜ込んだ。黄緑色のメッシュシートで落ち葉を運んで山にした。

堆肥になった暁には新しい畑の里芋の畝間のマルチに利用する予定である。

並行して草刈りもする。気持ちのいい雑木林に落ち葉の山がある姿はなんともいい景色である。

昼 12時より。谷っ戸ん田広場にてコンビニランチなどめいめいで摂る。  
昼食時には農政事務所には内緒で焚き火をして、暖をとる。

午後 1. 引き続き落ち葉かきを14時半まで行なう。  
2. 小屋に移動して、大根を干すのに利用したポニーを片付ける。  
3. 作業小屋の中で黒豆を選別する。14時45分から16時15分まで。

選別した黒豆は30リットル桶にほぼ一杯、約20kg。残りは3分の1程度ある。

また、取り除いた黒豆でもやしを栽培するので乞うご期待。

片づけをして16時半解散。

黒大豆での味噌の仕込みは3月12日(?)

とりあえずそれ以前にはおこなわない、と思われる。

先週糠漬けにした大根を試食したところ、糠の味がつき始めていた。塩きつめだが、来週はさらに美味しくなるだろうとの期待を持たせてくれる。

(記録: Hi-lucky 高橋)





## 第44回 『落ち葉かき、黒豆の選別』

日時 2011年2月26日(土) 晴れ 9:30~16:00

場所 谷っ戸ん田の周りの斜面、てつさんの作業小屋

参加者 Ozu(昼まで)、加藤(11時~)、霧生、久保、坂本、高橋(10:30~)、高田 計7名

### 午前

田んぼにあった枯れ木を燃やす予定が、すでに数日前にてつさんのおじさんが燃やしたとのこと。焼き芋を計画していたので、周りにある枯れ枝を急きょ集め、休憩場の一角でたき火開始(久保さん担当)

女性3人はサツマイモを洗いに作業小屋へ。湿らせた新聞紙でくるみ更にアルミホイルで包む作業を先にすませます。

落ち葉かきは斜面にまだ残っている枯れ葉をかき集め、いつものグリーンシートにのせて堆肥場に運ぶ。堆肥の山が大きく高くなっていて、頂上まで登ることを断念。

先日購入した真新しい熊手3本を早速使用。  
加藤先生が遅れて登場。火の番を久保さんと交代する。昼近くにサツマイモを投入。



### 昼 各自お弁当

食後、焼き芋完成!みんなでアツアツをほおぼる。

### 午後

午前の続きの落ち葉かきを1時間ほどで終える。

今シーズン酷使したグリーンシート(大)がついに破れ、使用不能になる。

てつさんの作業小屋へ移動。久保さんBGMの流れる中、残りの黒豆の選別開始。こちらも1時間ほどで終了。約10キロが本日の成果。

これで大豆、黒豆とも今年の選別作業は終了。お疲れ様でした。

たくあん漬けの試食

\* 選別終了をうけ、本日より販売開始。大豆・黒豆ともキロ500円。

\* 本日のお芋は、高田ファームの「紅あずま」でした。

(記録: 高田 直子)



## 第45回 『雑木林の落ち葉かき、駐車場の片付け、竹林整備』

日時 2011年3月5日(土) 晴れ 9:30~16:30

場所 谷っ戸ん田雑木林、駐車場、竹林

参加者 石田(途中抜け)、磯(午後)、加藤先生、霧生(午前)、久保(午後)、坂本、  
チャリママ佐々木、松本夫妻、百崎ハハ&まる(柴田さんが顔を出してくれました)  
大人10名+小人1名=計11名

### 午前

鉄塔脇の落ち葉を熊手で集める。地面にツルが縦横無尽に伸びていて、熊手に引っ掛かり、作業し辛い。ナタで枝を伐採する。長く伸びたツルでまるを中心にリース作りをした。なかなか素敵に仕上がりました。落ち葉はところどころに山にしました。

駐車場の周りの木やゴミなどを集めて燃やす。大きい木をのけたらサッパリした。

### 昼

各自撮る。柴田さんが顔を出してくれました。試験ご苦労様でした☆

### 午後

竹林に移動する。斜面脇に積んである竹を下ろし、グリーンのパンの荷台に積んで、田んぼに運ぶ作業を繰り返した。田んぼでは加藤先生が火の番をしてくださいました。その他細かい笹などを集め、養生シートにくるんで海苔巻き状にして、こちらもバンで田んぼに持って行く。

竹は火にくべると、時折バーンと爆発しスリル満点。最終的には竹炭も大量にでき、これからいろんなものに活用出来そう。ビニールハウスから水を運び、火消しして作業終了。

今日は暖かい日だった。朝冷えていたので厚着をして行ったら、作業中は汗をたくさんかいた。久しぶりに身体を動かし、最後は焚き火をして暑かった。竹炭作りをちゃんとしてみたいなあ…竹林の斜め具合は、いつ行っても凄いなあ…

(記録：百崎 恵美)





## 第46回 『味噌づくり、竹林整備、総会』

とき 平成23年3月19日(土) 9:30 - 17:30

ところ 谷っ戸ん田小屋、小屋の前、竹林

天気 晴(春の陽気)

参加者 石田、磯、オズ、加藤、霧生、久保、佐々木(妻・優聖/総会の前まで)、柴田、高田(夫妻/午後)、高橋、田中、松下、松本(夫妻)、吉田(顔出し)、計17名(子供1名含む)

● 午前 大豆煮込み組と竹林整備組に分かれる。

【大豆煮込み】(小屋前)(オズ、加藤、霧生、佐々木妻・優聖、柴田、田中)

黒大豆16kgはグリーンにて洗い、浸水させておいていただいた。

谷っ戸ん田に置いてあったかまどを小屋前に持ってきて、小屋の中の釜をセットし、小屋前を掃き掃除したことで出た杉の葉などを使って着火。燃料は、小屋前のハウスの隣にあった木材を使用。

10:25 豆煮込み開始。全量16kgを一気に煮込み始めたが、途中で吹きこぼれたため約1/3量を取り出し、取り出した大豆は午後引き続き煮込んだ。煮汁はインパクトの強い赤紫色だった。

<おまけ>柴田さんから「呉汁」の言葉の使い方について疑問あり。WEB検索によれば、「大豆の煮汁」=「呉」=「飴」で、呉を使った味噌汁=「呉汁」のようです。

吉田さんが顔を出してくれて、キャンディの差し入れ。

【竹林整備】(竹林)(磯、久保、高橋、松下、松本夫妻) 倒竹を斜面から下に降ろした。

● ランチ 小屋前にテーブルを出し、各自コンビニ弁当など。

● 午後

【味噌づくり】

大豆は乾燥重量16kg→煮込み後倍量の約33kgになったと想定。糀、麴は各8kgずつ購入。

<計画>

A 糀20L(大豆11kg、糀5.3kg、塩2.2kg)

B 糀・麴ハーフ20L(大豆11kg、糀2.7kg、麴2.7kg、塩2.2kg)

C 麴20L(大豆11kg、5.3kg、塩2.2kg)

<実際>

糀、麴とも、本来は先週味噌作りを行うはずが地震のため一週間延期したことが影響したのか、重量が減っていた。特に麴は内部が黒くなり発熱し、表面が黄緑色に変化。黄緑色は麴菌の胞子の色であり、問題ないと思われるが、黒いのはすでに味噌の香り…醗酵が進んでいる?大豆を醗酵させるパワーが果たして残っているのか?やってみないとわからない。

A 計画通り。

B 糀1.8kg、麴(黒くない部分)2.7kg、塩2.2kgで仕込んだ。

C 麴(黒い部分)2.8kg、塩1.5kgで仕込んだ。麴・塩量を減らしたため、大豆量も、石田リーダーの目算で減らした。余った煮大豆は希望者数名がお持ち帰り。

<手順>

1 糀・麴と塩を混ぜる。(塩切り)

2 グリーンのニューこだま号で煮大豆をミンチにし、1と混ぜる。

3 味噌玉を作り、焼酎で消毒した味噌樽にたたきつけるようにして入れていく。

4 45Lビニル袋をかぶせ、上に塩を敷いてふたをする。

【総会】

来年度は田、畑、加工品、竹林、事務など役割分担をして進めようということに。役割分担を行った。区画については、百崎さん・もえちゃんも来年度区画を持たないこと、新規参加は一家族予定されていること、松下さんがオズ区画に参入することが確認された。

【たくあん】

たくあんを味見。塩漬け・干しなど種類により味もさまざま。また、評価もさまざまだった(塩漬けはしょっぱすぎる・いや他のが薄いなど)。いろいろ種類があって良かったかも…。各自1~2本お持ち帰り。17:30頃解散。

(記録:オズ)



# 2011.3.26 壮行会





な〜に谷っ戸ん田



谷戸という場所は気持ちいい。  
仲間との農作業はたのしい。  
本格的な農作業はかっこいい。  
自らかかわった作物はおいしい。  
自給するって気分がいい。  
な〜に谷っ戸ん田はいいことやっとなだ。